

令和2年1月

令和元年度



恵庭市民意識調査(まちづくりアンケート)

調査結果報告書(概要版)

恵庭市

目次

1	市民意識調査の実施概要	1
1)	市民意識調査の目的	1
2)	市民意識調査（アンケート調査）の内容	1
(1)	アンケートの内容	1
(2)	アンケートの方法	1
(3)	アンケートの回収期間	1
(4)	アンケートの回収結果	2
(5)	アンケートの集計方法	2
(6)	アンケート調査票	2
2	調査結果の分析	17
1)	回答者の属性について	17
(1)	性別	17
(2)	年齢	17
(3)	職業	18
(4)	通勤・通学先	18
(5)	家族構成	19
(6)	居住地域	19
(7)	恵庭市での居住年数	20
(8)	現在の居住地以前に住んでいた場所	20
(9)	現在居住している住居の形態	21
2)	まちの印象について	22
問 1.	「恵庭市」の住み心地（一つだけ選択）	22
問 2.	「恵庭市」に住み続けたいか（一つだけ選択）	23
問 3.	「恵庭市」に住み続けたい理由（3つまで選択）	24
問 4.	「恵庭市」から引っ越したい理由（3つまで選択）	25
問 5.	引っ越したい場所（一つだけ選択）	26
3)	防災、福祉、保健、医療について	26
問 6.	災害時における避難場所の認識（一つだけ選択）	26
問 7.	災害時などの非常時の対策（すべて選択）	27
問 8.	消火器やAEDの使用方法の認識（一つだけ選択）	27
問 9.	障がいのある方が日常生活の困りごとを感じていると思うか（一つだけ選択）	28
問 10.	官民協働でまちぐるみの福祉ができていると思うか（一つだけ選択）	28
問 11.	高齢者や障がい者が住みよいまちづくりができていると思うか（一つだけ選択）	28
問 12.	認知症への認識（一つだけ選択）	29
問 13.	認知症への不安（すべて選択）	29
4)	子ども、教育、文化、スポーツについて	30
問 14.	恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちと思うか（一つだけ選択）	30
問 15.	子育てなどに関する取り組みが行われていると思うか（一つだけ選択）	30

問 16. 子育て環境が整っていると思うか（一つだけ選択）	30
問 17. 子育てに関する情報を入手しやすいまちと思うか（一つ選択）	30
問 18. 子ども・子育てで重点をおいて取り組んでほしい施策（一つだけ選択）	31
問 19. 運動やスポーツ活動の頻度（一つだけ選択）	31
問 20. いきがいについて（一つだけ選択）	32
問 21. いきがいの内容（すべて選択）	32
5) 産業、農業、経済、観光について	33
問 22. 恵庭市が様々な立場の人の就労の場があるまちと思うか（一つだけ選択）	33
問 23. 恵庭市内に魅力的なお店があると思うか（一つだけ選択）	33
問 24. 恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができるか（一つだけ選択）	33
問 25. 恵庭市のおすすめの内容（すべて選択）	34
問 26. 観光客が訪れることでの変化（すべて選択）	35
問 27. 外国人旅行者について（一つだけ選択）	35
問 28. 農畜産物の購入について（一つだけ選択）	36
6) 都市基盤、生活環境、自然環境について	36
問 29. 恵庭市雪対策基本計画の認識（一つだけ選択）	36
問 30. 水道水の安定供給が行われていると思うか（一つだけ選択）	37
問 31. 大雨時の浸水対策が行われていると思うか（一つだけ選択）	37
問 32. 最寄りの駅周辺に賑わいがあると思うか（一つだけ選択）	37
問 33. ごみマナー向上・リサイクル推進を意識しているか（一つだけ選択）	38
問 34. 節電を意識しているか（一つだけ選択）	38
7) 人材育成、行政サービス、協働、市民自治について	39
問 35. 市役所の情報のわかりやすさ（一つだけ選択）	39
問 36. 恵庭市の行政運営について（一つだけ選択）	40
問 37. 恵庭市政に関する仕組みについて（一つだけ選択）	41
問 38. 市役所の仕事の取り組み方（一つだけ選択）	42
問 39. 市役所での届け出や申請（すべて選択）	43
問 40. まちづくり基本条例の認識（一つだけ選択）	43
問 41. 市民との協働まちづくりの進展（一つだけ選択）	44
問 42. 活動への参加・協力の状況（すべて選択）	45
問 43. 姉妹都市、友好都市の認識（すべて選択）	46
問 44. 男女共同参画社会への認識（一つだけ選択）	46
8) 公共施設について	47
問 45. 公共施設の利用（一つだけ選択）	47
問 46. 公共施設を利用する理由（すべて選択）	48
問 47. 公共施設を利用しない理由（すべて選択）	49
問 48. 公共施設の整備（一つだけ選択）	50
問 49. 市政全般についての意見（自由回答）	51

1 市民意識調査の実施概要

1) 市民意識調査の目的

本調査は、恵庭市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るために定めた基本構想である「第5期恵庭市総合計画」に基づいた市政に対する市民意識の把握を目的に、アンケートを実施するものである。アンケート結果を分析、推論することによって恵庭市の強みを活かし、課題を克服するための政策立案に結びつける。

2) 市民意識調査（アンケート調査）の内容

(1) アンケートの内容

市民意識調査は、平成21年度から継続的に実施しており、市民意識の経年的な変化を把握するために、設問項目の大枠は変えずに進めてきた経緯がある。今回の調査も、過年度の方針に従い、前回（平成30年度）に実施したアンケートの設問はすべて採用し、比較分析ができる構成とした。

新規で追加した設問項目では、公共施設の統廃合に関する内容を設定した。

アンケート調査票の構成

設問の位置付け	構成
既存 (過年度調査と同様の 設問内容)	1) 回答者の属性について
	2) まちの印象について
	3) 防災、福祉、保健、医療について
	4) 子ども、教育、文化、スポーツについて
	5) 産業、農業、経済、観光について
	6) 都市基盤、生活環境、自然環境について
	7) 人材育成、行政サービス、協働、市民自治について
新規	8) 公共施設について

(2) アンケートの方法

アンケートの方法は、恵庭市に在住する16歳以上の市民から無作為に2,000人を抽出し、調査票の配布を発送により実施した。回答は、調査票（紙面）への記入・郵送による方法と、web（パソコン・スマホ）での方法の2通りから選択できる仕立てとした。

(3) アンケートの回収期間

アンケートに関する書類は、令和元年9月12日に発送し、回答の締め切りは同年10月4日とした。しかし、期日を過ぎても複数の回答があり、できるだけ多くの意見を反映することを優先し、同年10月21日までの回収分を有効回答とした。

(4) アンケートの回収結果

アンケートの回収結果は、有効回収数が 786 票、回収率が 39.3%であった。今回の調査から採用した web による回答は 83 票で、有効回収数に占める割合は 10.6%であった。

過年度に実施した各調査では、回収率は 50%程度を達成しており、今回の調査はこれまでに実施した調査のなかで最も回収率が低い結果となった。

アンケート調査の回収率

年度		有効回収数	回収率 (%)
今回調査	令和元年度	786 票 (調査票 : 703 票、web : 83 票)	39.3 (調査票 : 89.4、web : 10.6)
	平成 30 年度	1049 票	52.5
過年度調査	平成 26 年度	887 票	44.5
	平成 25 年度	936 票	47.0
	平成 24 年度	990 票	50.3
	平成 21 年度	936 票	47.0

(5) アンケートの集計方法

アンケートの集計・分析は、各設問における考察（単純集計）に加え、性別・年齢階層別・地域別特性のクロス集計、平成 30 年度・26 年度の 3 カ年での経年による比較を行った。なお、概要版はアンケート結果の全体像を概観できるものと位置付けており、単純集計のみで内容を整理している。

集計方法については、有効・無効となる回答等に以下の基準を設定した。

- ・ アンケートの集計数値 (%) は、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳を足し上げても必ずしも合計とは一致しないこともある。
- ・ 無回答は除外して集計し、各設問に対する回答数（母数 n）を記載する。
- ・ 単一回答では 2 つ以上選択、または選択がない場合は「無回答」として扱う。
- ・ 複数回答では、3 つまでの回答制限がある設問で 4 つ以上回答がある場合は「すべて回答」、選択がない場合は「無回答」として扱う。

(6) アンケート調査票

調査票は、A 4 用紙 14 ページの資料として配布し、回答者の属性に関する設問を含めて全 58 問からなる内容とした。

問18 あなたが、子ども・子育てに関する施策で今後、特に重点をおいて取り組んで欲しいと思うことは何ですか。
次の中から一つだけ選んでください。

1. 子どもの学力向上への取り組み
2. 子どもの体力向上への取り組み
3. 学校教育施設の充実
4. 保育サービスの充実
5. 母子保健医療体制の充実
6. 子どもの貧困対策
7. 子ども医療費助成などの経済的負担の軽減
8. 仕事と子育ての両立支援
9. その他 ()
10. 特になし

問19 あなたは、この一年で運動やスポーツ活動をどのくらいの頻度で行いましたか。
次の中から一つだけ選んでください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 週に3日以上 | 2. 週に1～2日 |
| 3. 月に1～3日 | 4. 3ヶ月に1～2日 |
| 5. 年に1～3日 | 6. 行っていない |



問20 あなたは、今いきがいを感じていますか。
次の中から一つだけ選んでください。

1. はい ⇒問21へお進みください
2. いいえ ⇒問22へお進みください

問21 問20で「はい」と答えた方へお聞きします。あなたはどのようなことでいきがいを感じますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 趣味・娯楽・教養
2. レクリエーション・スポーツ
3. 家族との団らん
4. 仕事や学業
5. ボランティアや地域活動
6. 子育て
7. その他 ()

⇒次のページへお進みください

■産業、農業、経済、観光について■

以下の設問は右のとおり、あてはまると思うところに○をしてください。		思う	少し思う	あまり思わない	思わない
問22	あなたは、恵庭市が障がいのある方や高齢者を含めて様々な立場の人の就労の場があるまちだと思いますか。	1	2	3	4
問23	あなたは、恵庭市内に魅力的なお店があると思いますか。	1	2	3	4
問24	あなたは、恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができると思いますか。	1	2	3	4

問25 問24で「魅力を伝えることができると思う」「魅力を伝えることができる」とまあ思う」とご回答いただいた方にお聞きします。あなたは、市外から友人や知人が訪ねてきたら、恵庭の何をおすすめしますか。
次の中からあてはまるものをすべて選んで、具体的に記入してください。

1. 食 ()
2. 観光スポット ()
3. 祭り・イベント ()
4. 自然・景観 ()
5. お土産・商品 ()
6. その他 ()

問26 観光客が多く訪れることにより、どのような変化がおこると思いますか。
次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 経済が活性化し、景気が良くなる
2. まちの賑わいが増す
3. 恵庭の良いイメージが市外の方に伝わるようになる
4. 市外・道外・海外からの来訪者と交流の機会が増える
5. 治安が悪くなる
6. まちの美しさが損なわれる
7. その他 ()
8. 特に変化はない



⇒次のページへお進みください

問27 あなたは、恵庭に観光に来る外国人旅行者が今より増えてほしいと思いますか。減ってほしいと思いますか。次の中から一つだけ選んでください。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 増えてほしい | 2. もう少し増えてほしい |
| 3. 今までのままでいい | 4. もう少し減ってほしい |
| 5. 減ってほしい | 6. わからない、どちらともいえない |

問28 あなたは、農畜産物を購入するときに恵庭産であることを意識していますか。次の中から一つだけ選んでください。

1. いつも意識している
2. 時々意識している
3. 意識したことがない



■都市基盤、生活環境、自然環境について■

問29 あなたは、安心して暮らせる冬の生活環境をつくるために、除雪や排雪の仕組みをきめた計画（恵庭市雪対策基本計画）があることを知っていますか。次の中から一つだけ選んでください。

1. 計画、その内容ともに知っている
2. 計画があることは知っているが、その内容までは知らない
3. 計画があることを知らない

以下の設問は右のとおり、あてはまるところに○をしてください。		思う	少しあ 思いう	あまり わな い思	思わ ない
問30	あなたは、水道水の安定供給が行われていると思いますか。	1	2	3	4
問31	あなたは、大雨時の浸水対策が行われていると思いますか。	1	2	3	4
問32	あなたは、最寄りの駅周辺に賑わいがあると思いますか。	1	2	3	4

⇒次のページへお進みください

以下の設問は右のとおり、あてはまるところに○をしてください。		大変意識している	ある程度意識している	あまり意識していない	まったく意識していない
問33	あなたは、日常生活の中で、ごみマナー向上・リサイクル推進を意識されていますか。	1	2	3	4
問34	あなたは、日常生活の中で、節電を意識されていますか。	1	2	3	4

■人材育成、行政サービス、協働、市民自治について■

問35 あなたが得ている市役所からの情報はわかりやすいですか。下記の1～8の各項目について、最も近いものを一つずつ選んで右の欄に○をつけてください。

市役所から発信している情報の種類	わかりやすさ				情報発信していることを知らない、利用していない
	大変わかりやすい	わかりやすい	わかりにくい	非常にわかりにくい	
1. 市広報誌	1	2	3	4	5
2. 市ホームページ	1	2	3	4	5
3. 市公式フェイスブック	1	2	3	4	5
4. 市各担当・施設窓口	1	2	3	4	5
5. 市各種計画書等の冊子やリーフレットなど	1	2	3	4	5
6. 新聞など	1	2	3	4	5
7. 地域FM放送（FM e-niwa）	1	2	3	4	5
8. メール配信サービス	1	2	3	4	5

問36 あなたは、恵庭市が透明性の高い行政運営を実施していると感じますか。次の中から一つだけ選んでください。

1. 大変感じる
2. ある程度感じる
3. あまり感じない
4. まったく感じない

問37 あなたは、恵庭市に対して市民の声を政策の決定や予算に反映させる仕組みがあることをご存知ですか。次の中から一つだけ選んでください。

1. 仕組みがあること、その内容ともに知っている
2. 仕組みがあることは知っているが、その内容までは知らない
3. 仕組みがあることを知らない

※仕組みの例
 ・審議会への参加
 ・パブリックコメント
 ・市長への手紙など

⇒次のページへお進みください

問38 市役所の仕事の取り組み方について、あなたがもっと力を入れてほしいと思うことは何ですか。特に感じることを次の中から一つだけ選んでください。

1. 届出や申請をスムーズでわかりやすくすること
2. 窓口や電話で親切な対応を心がけること
3. 事務や事業の効率化、見直しを進めること
4. 市政情報を積極的に発信すること
5. その他 ()
6. 特にない

問39 市役所で届出や申請をした際に、わかりづらいと感じたことはありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 職員の説明
2. 書類の書き方
3. 窓口における呼び出し方や案内表示
4. 通知、交付される文書の表現、内容（専門用語が多い、難解など）
5. 手続きに必要な待ち時間、かかる時間
6. 各種窓口が細かく分かれていることによる手続きの煩雑さ
7. その他 ()
8. 特にない

問40 恵庭市まちづくり基本条例は、平成26年1月に施行しております。あなたは、恵庭市まちづくり基本条例があることをご存知ですか。次の中から一つだけ選んでください。

1. 条例があること、その内容ともに知っている
2. 条例があることは知っているが、その内容までは知らない
3. 条例があることを知らない

※まちづくり基本条例とは…市民・議会・市が「協働」でまちづくりを進めるための基本的なルールを定めたものです。

問41 恵庭市まちづくり基本条例に基づき、市ではさまざまな分野で市民と行政が協働してまちづくりを進めています。あなたは、このようなまちづくりが、どの程度進んでいると感じますか。次の中から一つだけ選んでください。

1. 非常に進んでいる
2. やや進んでいる
3. 変わらない
4. あまり進んでいない
5. 全く進んでいない
6. わからない

⇒次のページへお進みください

問47 問45で「3.あまり使わない」「4.使ったことがない」と回答した施設について、利用しない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 施設が古い、せまい
2. 利用者が少なく、閑散としている
3. 利用料金が高い
4. バリアフリー化に対応していない
5. 自宅から施設までの距離が遠い
6. 施設までの交通の便が良くない（バスや電車などの公共交通機関では行けない）
7. 駐車場がない（駐車台数が少ない）
8. 開設時間が短く、使いにくい
9. 他の自治体や民間の施設を利用している
10. その他（)
11. 「3.あまり使わない」「4.使ったことがない」に回答していない

問48 少子高齢化と人口減少が進む中で、既存の公共施設をそのまま維持することは難しくなります。これからも公共施設をよりよく利用していただくためには、どのような整備が望ましいと思いますか。次の中から一つだけ選んでください。

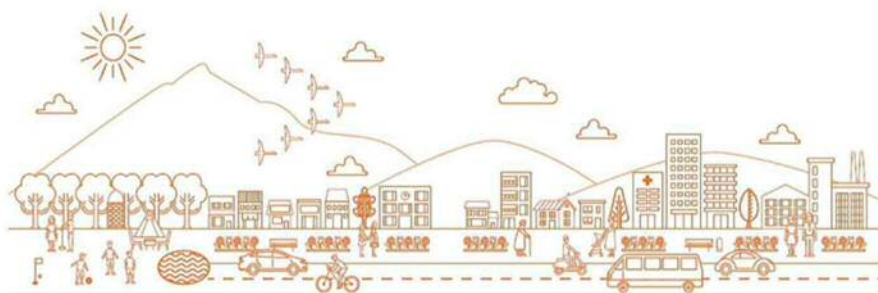
1. 似ている施設は1つに集約・複合し、管理費等を軽減する
2. 既存の建物は、改修により長く利用し続ける
3. 利用率の低い施設は廃止し、残りの施設の整備を手厚くする
4. 近接する自治体と共同で建設・運営を行い、財源の効率化を図る
5. 民間企業に運営を委託する
6. 利用料を引き上げ、施設のサービスや機能の充実にあてる

⇒次のページへお進みください

問49 市政全般についてお気づきの点がありましたら、どのようなことでも構いませんので、ご自由にお書きください。

A large, empty rectangular area with a dashed border, intended for handwritten responses to the question above.

⇒次のページへお進みください



● あなたご自身のことについてお伺いいたします

(1) あなたの性別は 1. 男 2. 女

(2) あなたの年齢は
 1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代以上

(3) あなたの職業は
 1. 農林漁業 2. 自営業 3. 会社員
 4. 公務員・団体職員 5. パート・アルバイト 6. 専業主婦・主夫
 7. 学生・専門学校生 8. 無職 9. その他

(4) 通勤・通学している方におたずねします。あなたの通勤・通学先はどこですか。
 1. 恵庭市内 2. 北広島市 3. 千歳市
 4. 札幌市 5. その他()

(5) あなたの家族構成は
 1. 単身世帯 2. 一世帯世帯(夫婦だけ) 3. 二世帯世帯(親と子)
 4. 三世帯世帯(親と子と孫) 5. その他(1～4のいずれにもあてはまらない世帯)

(6) あなたのお住まいの地域は
 1. 恵庭小学校区(白樺町、末広町、栄恵町、泉町、桜町、京町、漁町、福住町、
 緑町、相生町、住吉町、新町、本町、黄金北、黄金中央、上山口)
 2. 和光小学校区(戸磯、恵南、和光町、駒場町、黄金南、相生町、住吉町、上山口)
 3. 柏小学校区(大町、文京町、牧場、美咲野、幸町、柏木町、北柏木町3丁目、盤尻、島松沢)
 4. 若草小学校区(有明町、中島町、恵央町、柏陽町、北柏木町1・2・4・5丁目、西島松)
 5. 恵み野小・恵み野旭小学校区(恵み野西、恵み野南、恵み野東、恵み野北、恵み野里美)
 6. 島松小学校区(島松寿町、島松仲町、島松東町、島松本町、島松旭町、西島松、南島松、
 中島松、下島松、穂栄、北島、林田)
 7. 松恵小学校区(漁太、林田、春日、中央、上山口、中島松)

(7) あなたは恵庭市に住んで通算何年になりますか
 1. 5年未満 2. 5年以上～10年未満
 3. 10年以上～20年未満 4. 20年以上～30年未満 5. 30年以上

(8) 現在のお住まいに住む前はどこにお住まいでしたか
 1. 恵庭市内 2. 道内(札幌圏)
 3. 道内(札幌圏以外) 4. 道外

(9) あなたの現在のお住まいは
 1. 持ち家(分譲マンション含む) 2. 民間の借家・アパート・賃貸マンション等
 3. 社宅・官舎 4. 公営住宅 5. その他(1～4のいずれにもあてはまらない住居)

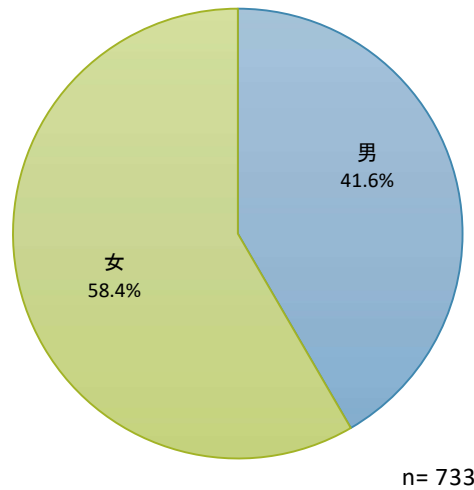
ご協力ありがとうございました。
 記入後はこの調査票を三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて
 切手を貼らずに、10月4日(金)までにご返送ください。

2 調査結果の分析

1) 回答者の属性について

(1) 性別

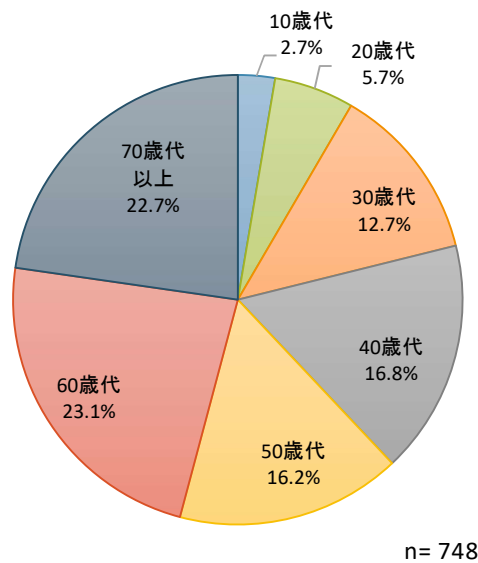
- ・ 回答者の性別は、「男性」が41.6%、「女性」が58.4%であった。
- ・ 「女性」の回答者が、「男性」よりも20%程度多かった。



回答者の性別

(2) 年齢

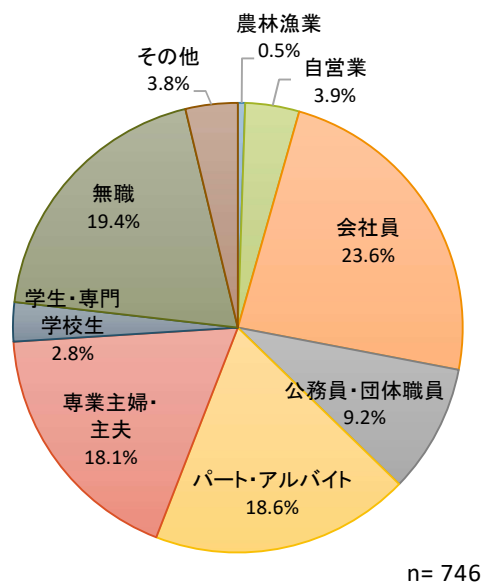
- ・ 回答者の年齢は、「60歳代」が23.1%で最も多く、次いで「70歳代以上」が22.7%と高齢者の回答が多かった。
- ・ 「10歳代」は2.7%、「20歳代」は5.7%と、回答者に占める割合が少なかった。



回答者の年齢

(3) 職業

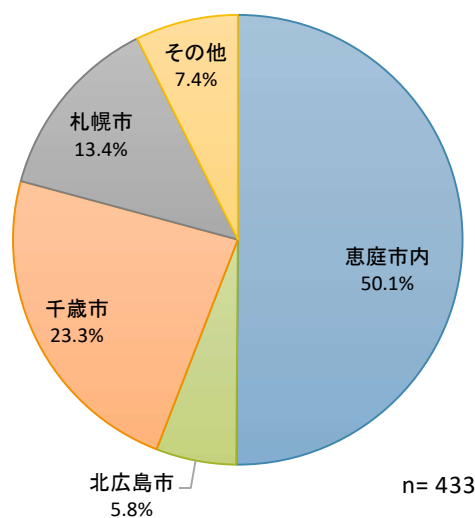
- ・ 回答者の職業は、「会社員」が23.6%で最も多く、次いで「無職」が19.4%であった。
- ・ 「パート・アルバイト」が18.6%、「専業主婦・主夫」が18.1%と、上位4つの回答がそれぞれ20%程度と大半を占めた。



回答者の職業

(4) 通勤・通学先

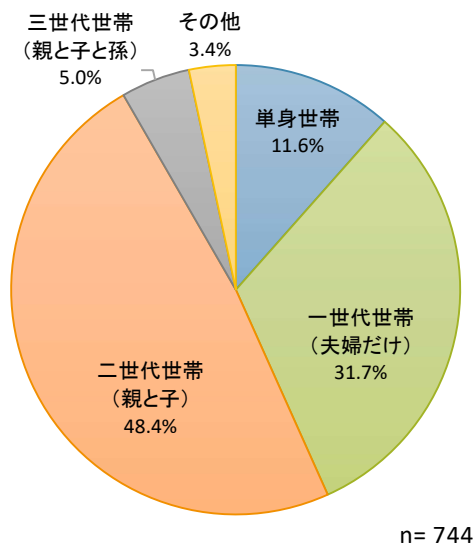
- ・ 回答者の通勤・通学先は、「恵庭市内」が50.1%で最も多かったが、恵庭市に居住しているにも関わらず全回答者の半数しかいない結果となった。
- ・ 「千歳市」が23.3%で2番目に多く、「札幌市」が13.4%で3番目であった。
- ・ 「その他」では、「苫小牧市」が11名、「長沼町」が3名などであった。



回答者の通勤・通学先

(5) 家族構成

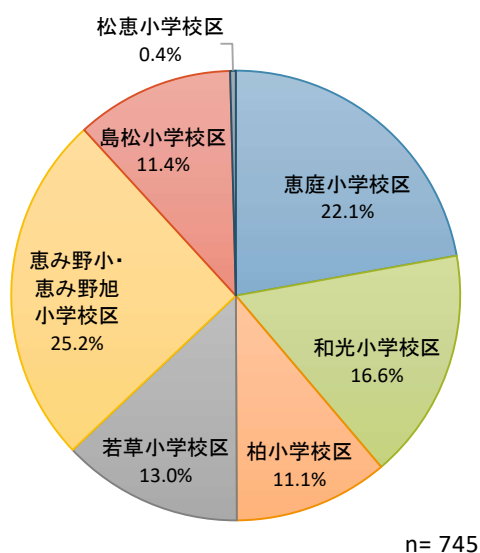
- ・ 回答者の家族構成は、「二世世代世帯（親と子）」が 48.4%で最も多く、次いで「一世代世帯（夫婦だけ）」が 31.7%であった。
- ・ 「単身世帯」が 11.6%、「三世代世帯（親と子と孫）」が 5.0%と続いた。



回答者の家族構成

(6) 居住地域

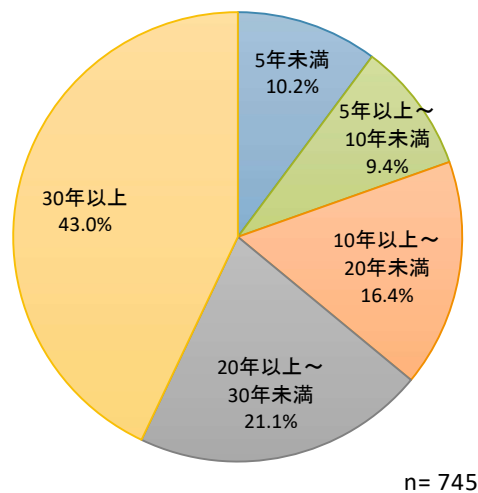
- ・ 回答者の居住地域は、「恵み野小・恵み野旭小学校区」が 25.2%で最も多く、次いで「恵庭小学校区」が 22.1%、「和光小学校区」が 16.6%であった。
- ・ 「松惠小学校区」は 0.4%と、ほとんど回答が見られなかった。



回答者の居住地域

(7) 恵庭市での居住年数

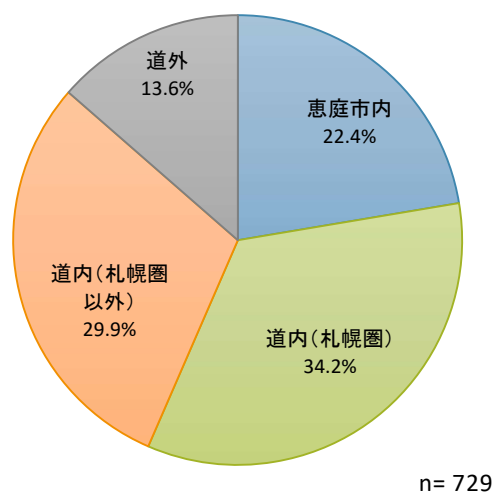
- ・ 回答者の恵庭市での居住年数は、「30年以上」が43.0%で最も多く、「20年以上～30年未満」が21.1%、「10年以上～20年未満」が16.4%と続いた。
- ・ 回答者の割合としては、居住年数が長い人が多い結果となった。



回答者の恵庭市在住年数

(8) 現在の居住地以前に住んでいた場所

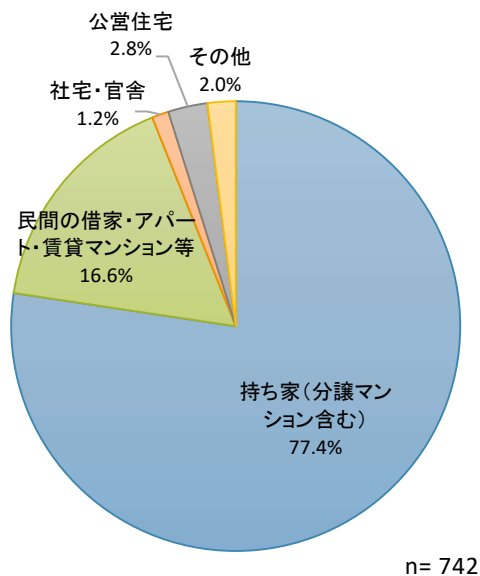
- ・ 回答者の以前の居住地は、「道内（札幌圏）」が34.2%で最も多く、次いで「道内（札幌圏以外）」が29.9%であった。
- ・ 「恵庭市内」は22.4%であり、恵庭市内での移動よりも近隣や道内の市町村から転入した回答者のほうが多かった。



回答者の以前の居住地

(9) 現在居住している住居の形態

- ・ 回答者の現在居住している住居の形態は、「持ち家（分譲マンションを含む）」が 77.4%と、大半を占めた。
- ・ 「民間の借家・アパート・賃貸マンション等」が 16.6%で2番目に多く、「公営住宅」は 2.8%、「社宅・官舎」は 1.2%とほとんど見られなかった。

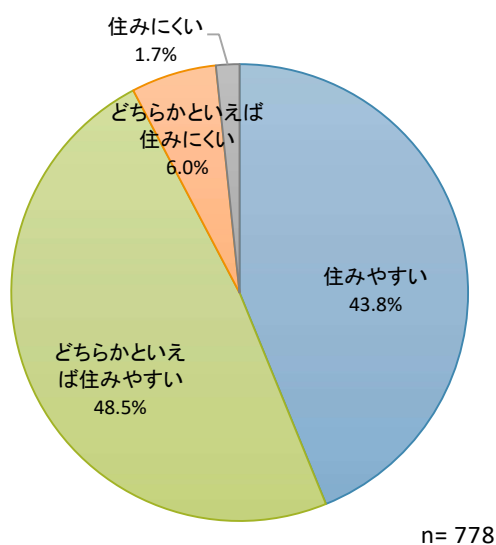


回答者の住居形態

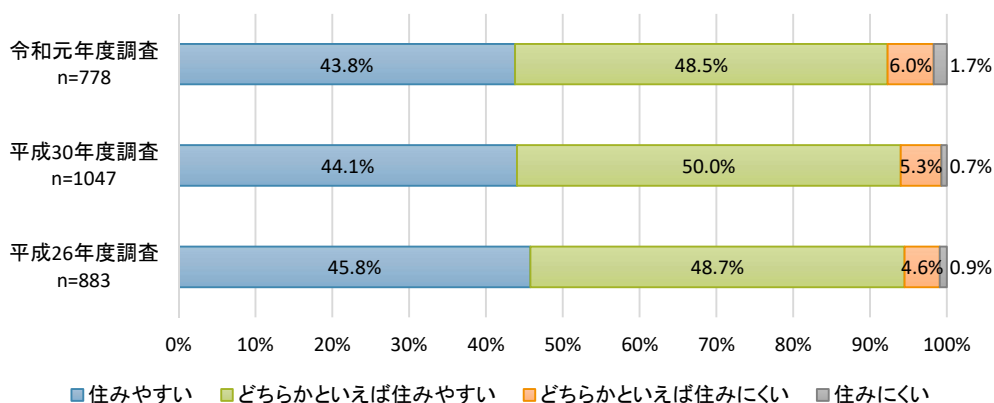
2) まちの印象について

問1. 「恵庭市」の住み心地（一つだけ選択）

- ・ 恵庭市の住み心地は、「どちらかといえば住みやすい」が48.5%、「住みやすい」が43.8%であった。
- ・ 「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は92.3%となり、現状の居住環境に対して高い評価が得られた。
- ・ 3カ年の経年比較では、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は平成26年度調査が94.5%、平成30年度調査が94.1%、令和元年度調査が92.3%といずれも評価が高く、ほとんど変化はなかった。



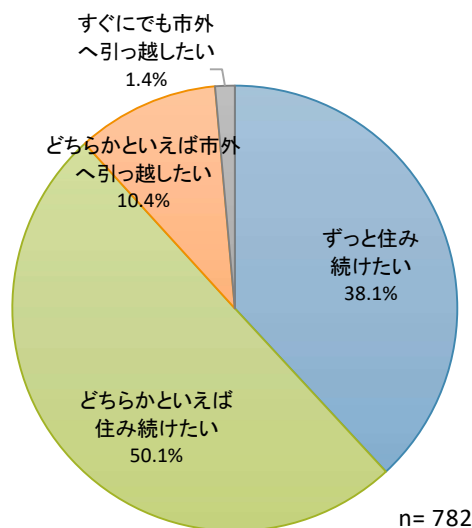
恵庭市の住みやすさについて



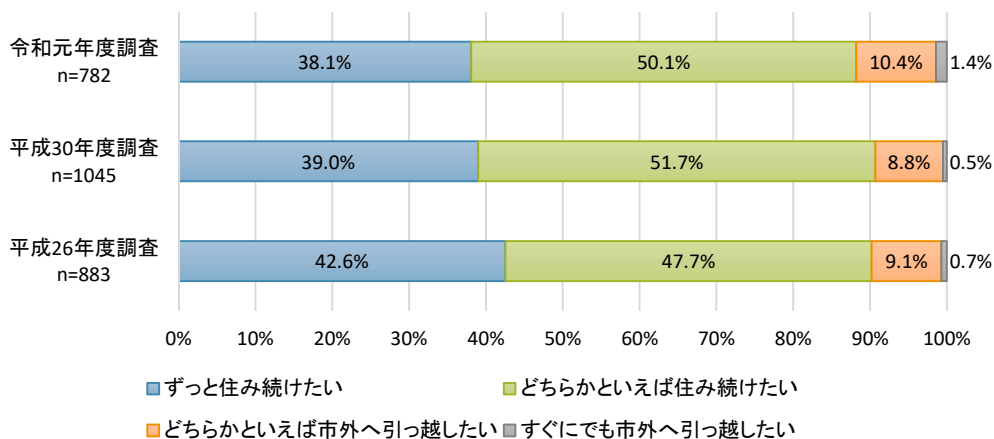
恵庭市の住みやすさについて（3カ年での経年比較）

問2. 「恵庭市」に住み続けたいか（一つだけ選択）

- ・ 恵庭市への永住に対しては、「どちらかといえば住み続けたい」が50.1%で最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」が38.1%であった。
- ・ 「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は88.2%であり、定住志向の高さが確認できた。
- ・ 3カ年の経年比較では、「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は平成26年度調査が90.3%、平成30年度調査が90.7%、令和元年度調査が88.2%といずれも評価が高く、ほとんど変化はなかった。



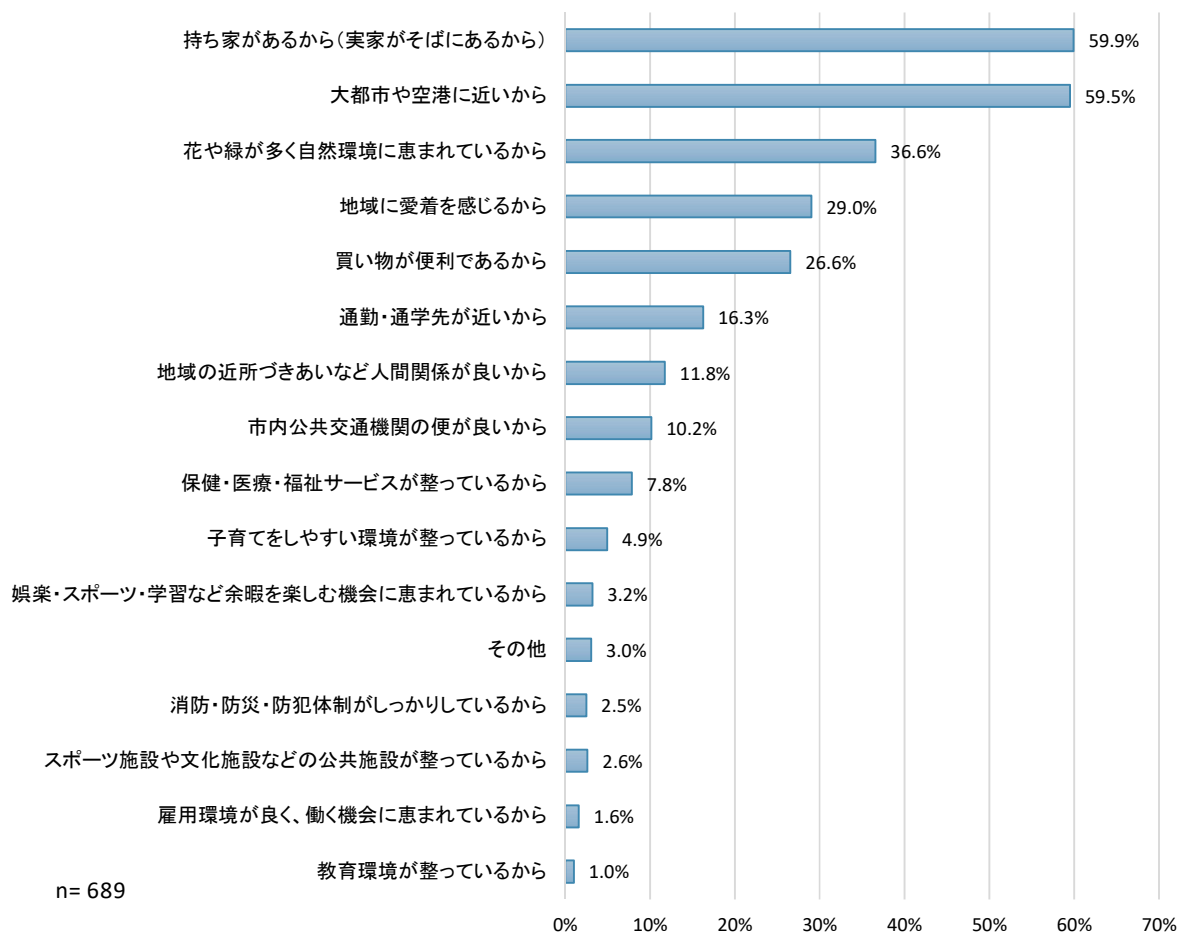
恵庭市への永住について



恵庭市への永住について（3カ年での経年比較）

問3. 「恵庭市」に住みたい理由（3つまで選択）

- ・ 恵庭市に住みたい理由では、「持ち家があるから（実家がそばにあるから）」が59.9%で最も多く、「大都市や空港に近いから」も59.5%と多くの回答が得られた。
- ・ 次いで「花や緑が多く自然環境に恵まれているから」が36.6%、「地域に愛着を感じるから」が29.0%と、郊外居住地としての利便性の高さを評価する回答が上位を占めた。
- ・ 対して、回答が少なかったのは雇用、教育、スポーツ、文化などの施設に関する内容であった。
- ・ 「その他」では、「気候が良い」といった意見が多かった。



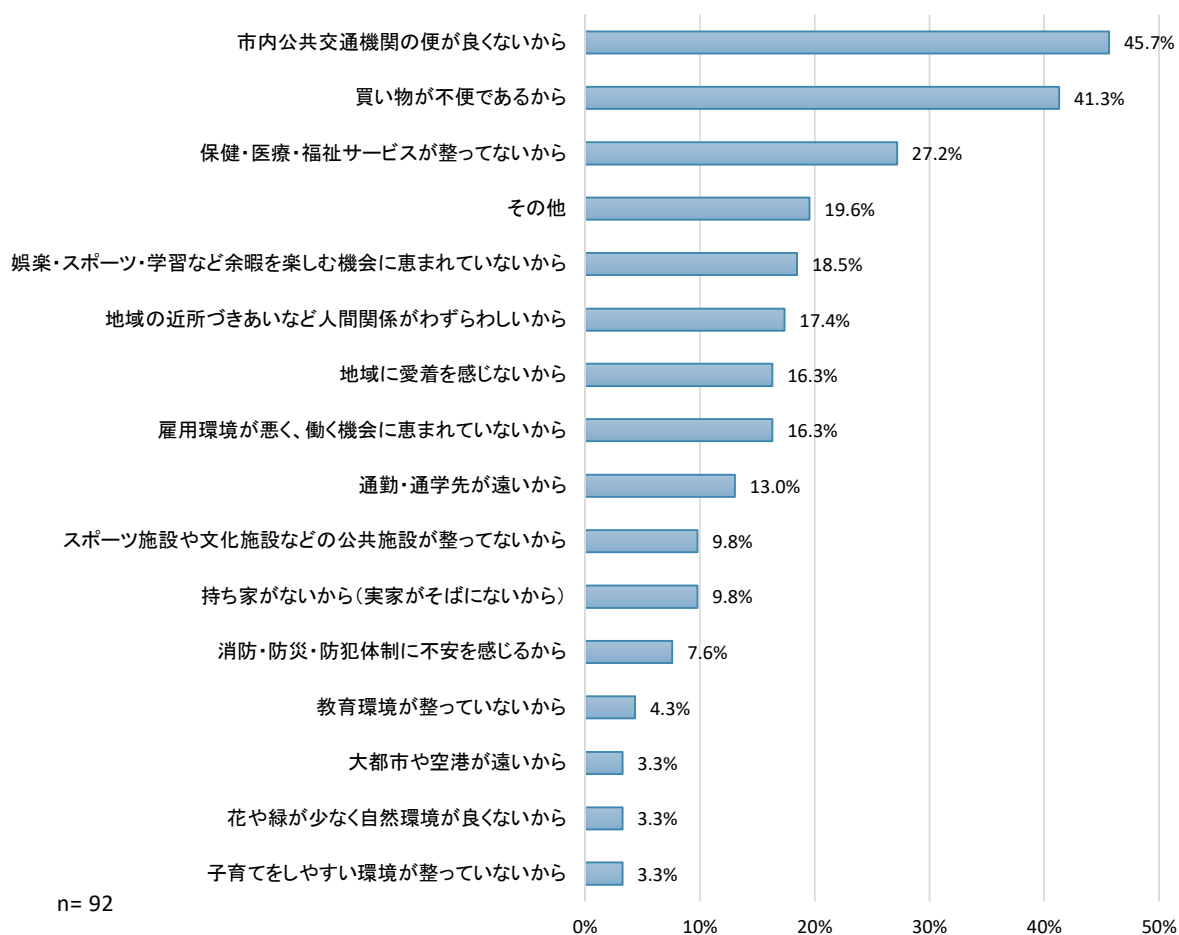
恵庭市に住みたい理由

<その他の主な内容>

- ・ 「ごみ収集が戸別」、「都会すぎず、田舎すぎず、静かに暮らせる」など。

問4. 「恵庭市」から引っ越したい理由（3つまで選択）

- ・ 恵庭市から引っ越したい理由では、「市内公共交通機関の便が良くないから」が45.7%で最も多く、「買い物が不便であるから」も41.3%と多くの回答が得られた。
- ・ 次いで「保健・医療・福祉サービスが整っていないから」が27.2%、「その他」が19.6%と、上位の回答は都市機能に関する内容が多かった。
- ・ 対して、回答が少なかったのは花や緑、子育て環境など、居住地としての評価に関する内容であった。
- ・ 「その他」では、就職したい企業や通いたい大学がないといった意見が多かった。



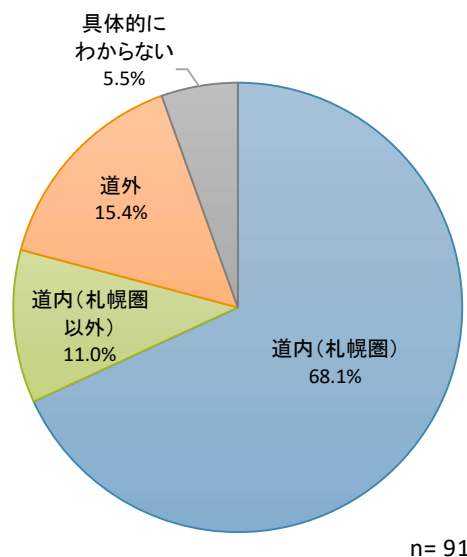
市外へ引っ越したい理由

<その他の主な内容>

- ・ 「除雪が悪い」、「よい病院がない」、「寒い」など。

問5. 引っ越したい場所（一つだけ選択）

- ・ 引っ越したいと回答した人に、どこに引っ越したいかを聞いたところ、「道内（札幌圏）」が68.1%と最も多かった。
- ・ 「道内（札幌圏以外）」は11.0%、「道外」は15.4%と、札幌圏以外では道内と道外の割合はほとんど変わらなかった。

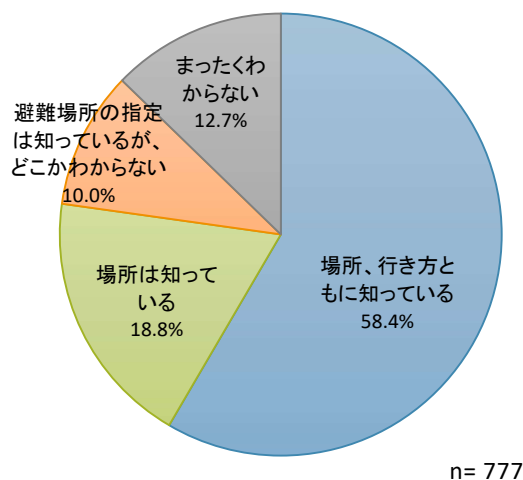


恵庭市から引っ越したいと思う場所

3) 防災、福祉、保健、医療について

問6. 災害時における避難場所の認識（一つだけ選択）

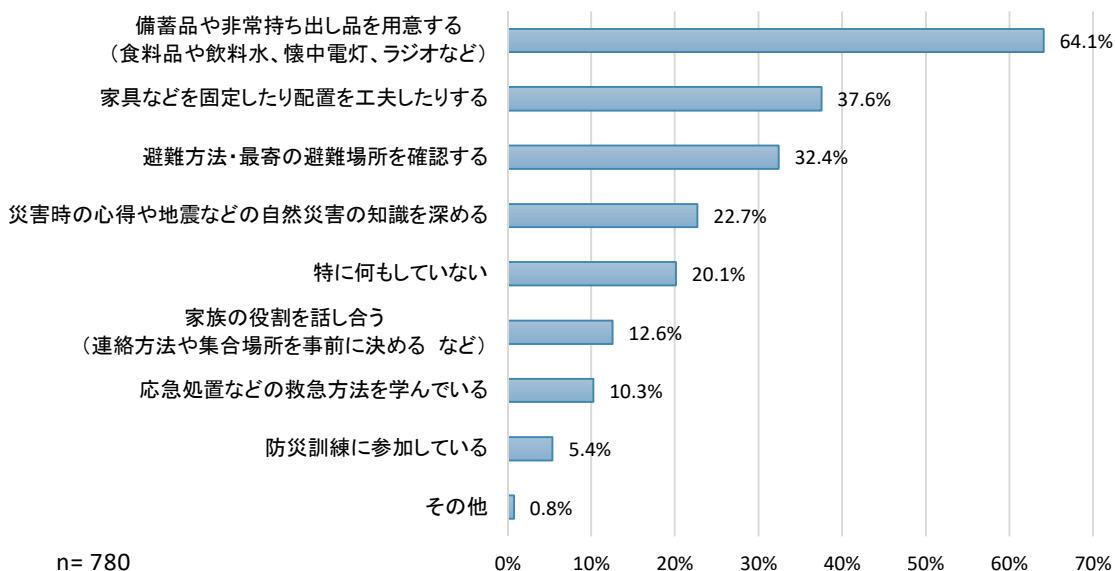
- ・ 災害時における近所の避難場所については、「場所、行き方ともに知っている」が58.4%で最も多かった。
- ・ 「まったくわからない」は12.7%であり、「避難場所の指定は知っているが、どこかわからない」の10.0%を上回った。



避難場所に対する認識

問7. 災害時などの非常時の対策（すべて選択）

- ・ 災害時などの非常時の対策では、「備蓄品や非常持ち出し品を用意する」が64.1%で最も多く、「家具などを固定したり配置を工夫したりする」が37.6%、「避難方法・最寄の避難場所を確認する」が32.4%で続いた。
- ・ 「特に何もしていない」は20.1%で、5番目に多かった。



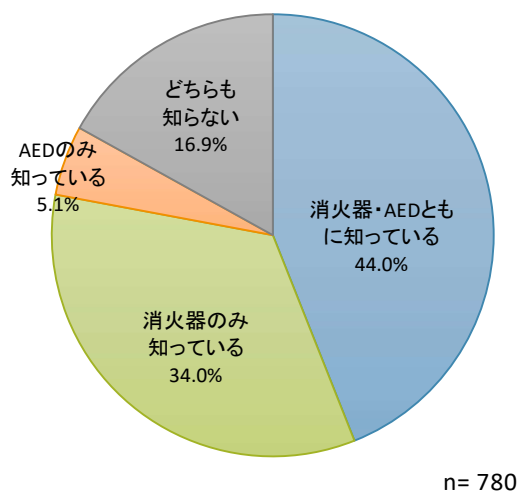
市民が非常時に備えて実施している対策

<その他の主な内容>

- ・ 「災害用トイレを用意」、「持ち出し物を車に積んでいる」など。

問8. 消火器やAEDの使用方法の認識（一つだけ選択）

- ・ 消火器やAEDの使用方法については、「消火器・AEDともに知っている」は44.0%で最も多かった。
- ・ 「消火器のみ知っている」は34.0%、「AEDのみ知っている」は5.1%であり、「どちらも知らない」は16.9%であった。



消火器やAEDの使用方法に対する認識

問9. 障がいのある方が日常生活の困りごとを感じていると思うか（一つだけ選択）

問10. 官民協働でまちぐるみの福祉ができていると思うか（一つだけ選択）

問11. 高齢者や障がい者が住みよいまちづくりができていると思うか（一つだけ選択）

【問 9】

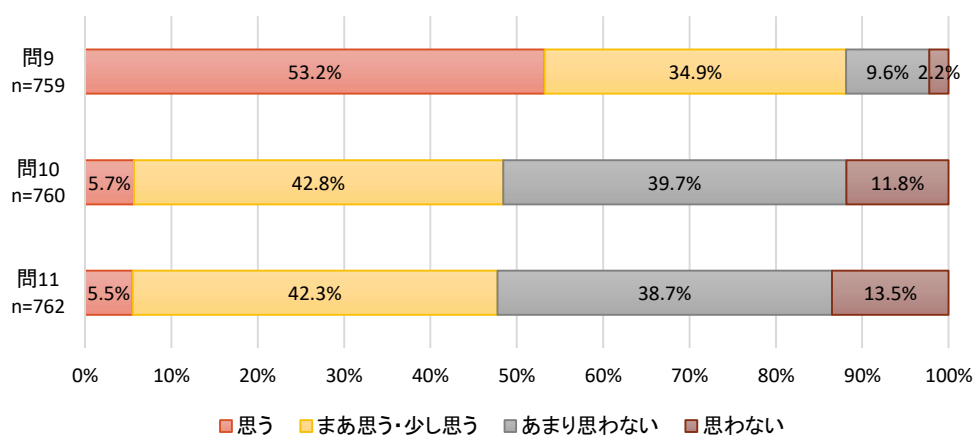
- ・ 障がいのある方が日常生活の困りごとを感じているかについては、「思う」が 53.2%、「まあ思う・少し思う」が 34.9%であり、肯定側の回答は 88.1%となった。
- ・ 「あまり思わない」は 9.6%、「思わない」は 2.2%と、否定側の回答は 10%程度と少なかった。

【問 10】

- ・ 恵庭市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉ができていると思うかについては、「まあ思う・少し思う」は 42.8%で最も多かったが、「思う」は 5.7%で最も少なかった。
- ・ 「あまり思わない」は 39.7%、「思わない」は 11.8%であり、否定側の回答が 51.5%と肯定側を上回った。

【問 11】

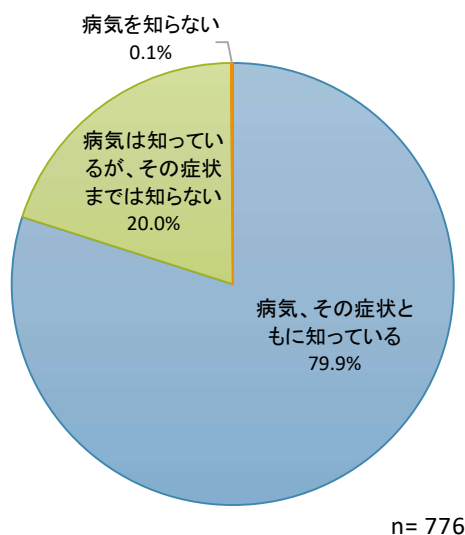
- ・ 高齢者や障がい者にとって住みよいまちづくりができていると思うかについては、「まあ思う・少し思う」は 42.3%で最も多かったが、「思う」は 5.5%で最も少なかった。
- ・ 「あまり思わない」は 38.7%、「思わない」は 13.5%であり、否定側の回答が 52.2%と肯定側を上回った。



問 9、問 10、問 11 の回答結果

問12. 認知症への認識（一つだけ選択）

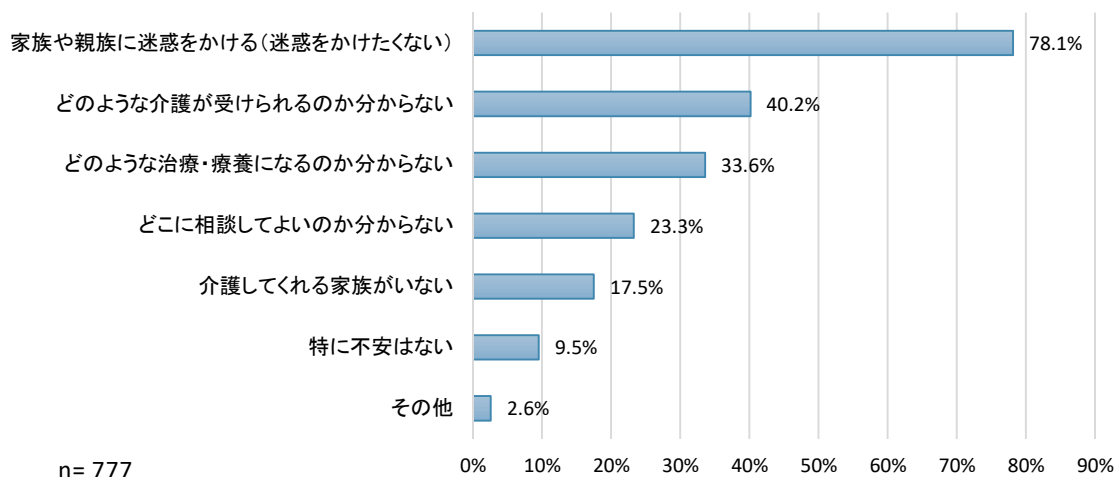
- ・ 認知症については、「病気、その症状ともに知っている」が 79.9%で最も多く、次いで「病気は知っているが、その症状までは知らない」が 20.0%であった。
- ・ 「病気を知らない」は 0.1%であり、多くの回答者が認知症の基礎的な情報までは認識しているといえる。



認知症に対する認識

問13. 認知症への不安（すべて選択）

- ・ 認知症に対して感じている不安では、「家族や親族に迷惑をかける（迷惑をかけたくない）」が 78.1%で最も多く、「どのような介護が受けられるのか分からない」が 40.2%、「どのような治療・療養になるのか分からない」が 33.6%で続いた。
- ・ 「特に不安はない」は 9.5%で、「その他（2.6%）」を除いた項目のなかでは最も回答が少なかった。



認知症に対する不安の内容

<その他の主な内容>

- ・ 「金銭面に不安がある」、「働けなくなる」、「予防方法」など。

4) 子ども、教育、文化、スポーツについて

問14. 恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちと思うか（一つだけ選択）

問15. 子育てなどに関する取り組みが行われていると思うか（一つだけ選択）

問16. 子育て環境が整っていると思うか（一つだけ選択）

問17. 子育てに関する情報を入手しやすいまちと思うか（一つだけ選択）

【問 14】

- ・ 恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちだと思うかについては、「思う」が 11.5%、「まあ思う・少し思う」が 44.0%であり、肯定側の回答は 55.5%となった。
- ・ 「あまり思わない」は 36.5%、「思わない」は 7.9%であり、否定側の回答は 44.4%と肯定側よりも少なかった。

【問 15】

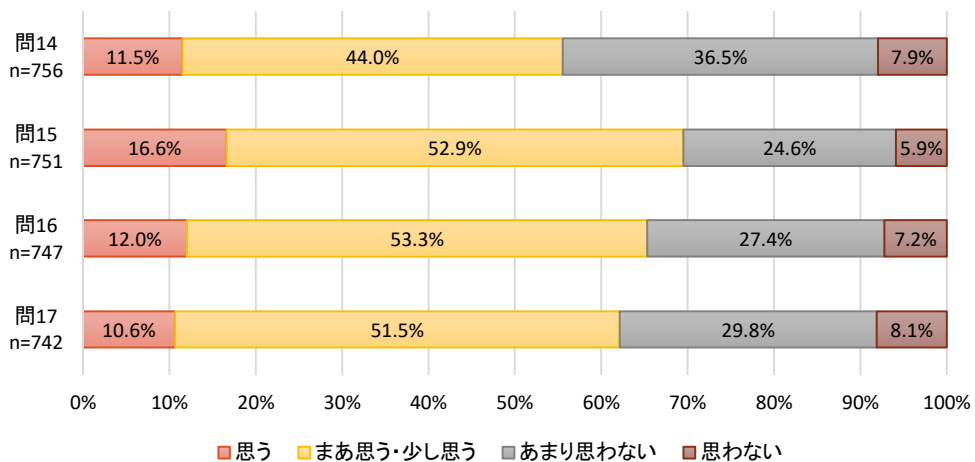
- ・ 恵庭市が子育てなどの取り組みが行われていると思うかについては、「思う」が 16.6%、「まあ思う・少し思う」が 52.9%であり、肯定側の回答は 69.5%となった。
- ・ 「あまり思わない」は 24.6%、「思わない」は 5.9%であり、否定側の回答は 30.5%と肯定側よりも少なかった。

【問 16】

- ・ 恵庭市の子育て環境が整っていると思うかについては、「思う」が 12.0%、「まあ思う・少し思う」が 53.3%であり、肯定側の回答は 65.3%となった。
- ・ 「あまり思わない」は 27.4%、「思わない」は 7.2%であり、否定側の回答は 34.6%と肯定側よりも少なかった。

【問 17】

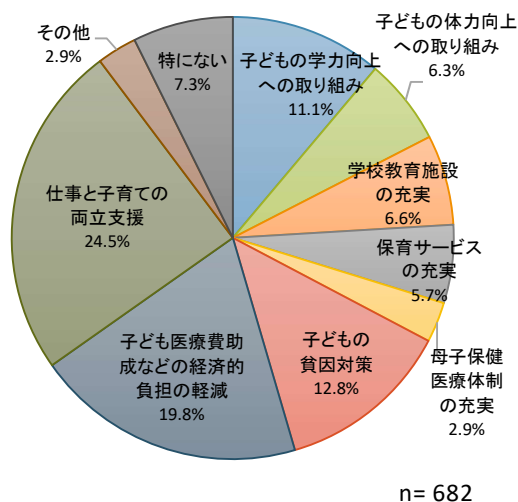
- ・ 恵庭市が子育てに関する情報を入手しやすいまちと思うかについては、「思う」が 10.6%、「まあ思う・少し思う」が 51.5%であり、肯定側の回答は 62.1%となった。
- ・ 「あまり思わない」は 29.8%、「思わない」は 8.1%であり、否定側の回答は 37.9%と肯定側よりも少なかった。



問 14、問 15、問 16、問 17 の回答結果

問18. 子ども・子育てで重点をおいて取り組んでほしい施策（一つだけ選択）

- 子ども・子育てで今後特に重点をおいて取り組んでほしい施策では、「仕事と子育ての両立支援」が24.5%、「子ども医療費助成などの経済的負担の軽減」が19.8%と、生活支援や補助に関する施策が上位となった。
- 「子どもの学力向上への取り組み」は11.1%、「学校教育施設の充実」は6.6%となっており、教育に関する施策が続いた。



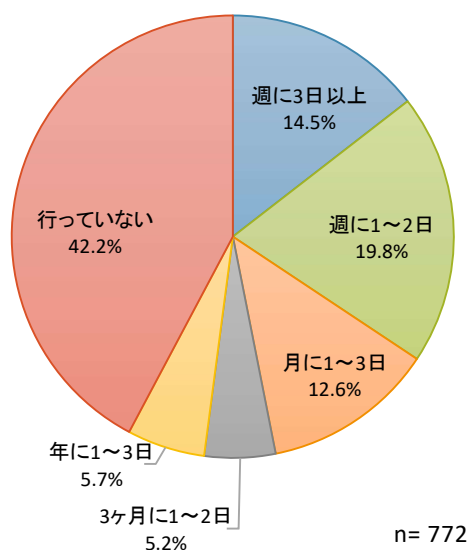
子ども・子育てに関する施策で重点的に取り組んでほしいこと

<その他の主な内容>

- 「子どもの遊び場の充実」、「教員の増員」、「人間性、社会性の育成」など。

問19. 運動やスポーツ活動の頻度（一つだけ選択）

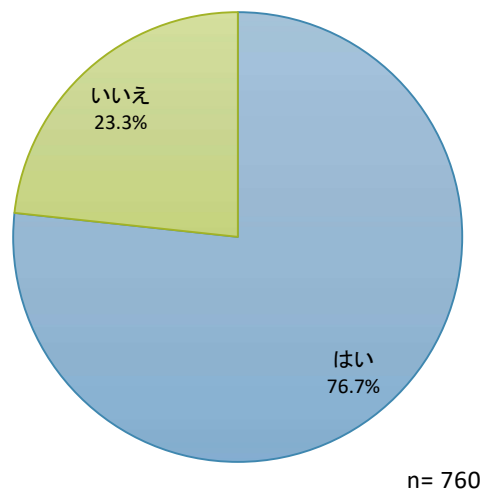
- 最近一年の運動やスポーツ活動では、「行っていない」が42.2%で最も多かった。
- 実施している回答者については、頻度としては「週に1～2日」が19.8%で最も多く、次いで「週に3日以上」が14.5%、「月に1～3日」が12.6%であった。



この一年での運動やスポーツ活動の頻度

問20. いきがいについて（一つだけ選択）

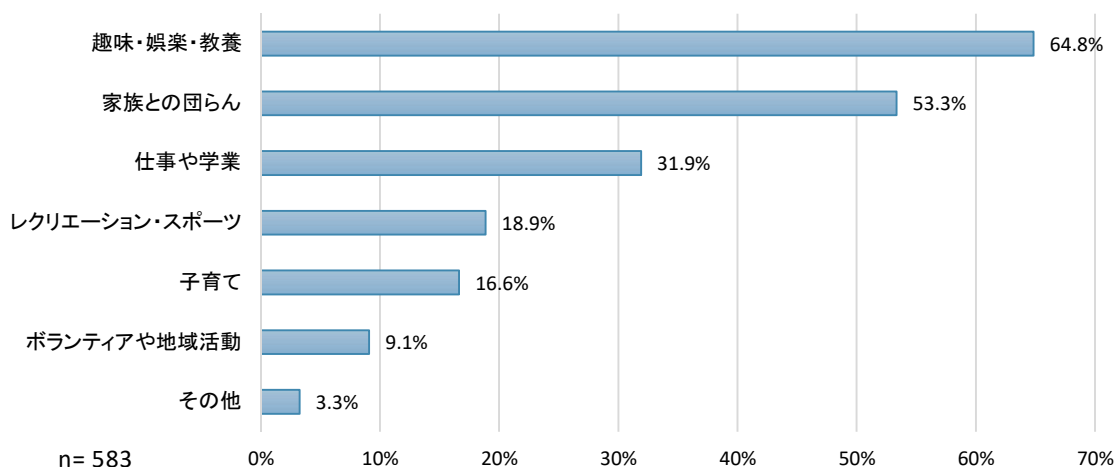
- ・ 今いきがいを感じているかとの質問に対しては、「はい」（感じている）が76.7%、「いいえ」（感じていない）が23.3%であった。
- ・ いきがいを感じている回答者は、全体の8割程度と大半を占めた。



いきがいを感じている・感じていないかの割合

問21. いきがいの内容（すべて選択）

- ・ いきがいの内容では、「趣味・娯楽・教養」が64.8%で最も多く、次いで「家族との団らん」が53.3%と、2項目が特に多い結果となった。
- ・ 「仕事や学業」は31.9%と3番目に多く、「ボランティアや地域活動」は9.1%と「その他」を除く項目のなかで最も回答が少なかった。



いきがいを感じている回答者の具体的内容

<その他の主な内容>

- ・ 「友人との付き合い」、「旅行」、「孫の成長」、「元気で働けていること」など。

5) 産業、農業、経済、観光について

問22. 恵庭市が様々な立場の人の就労の場があるまちと思うか（一つだけ選択）

問23. 恵庭市内に魅力的なお店があると思うか（一つだけ選択）

問24. 恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができるか（一つだけ選択）

【問 22】

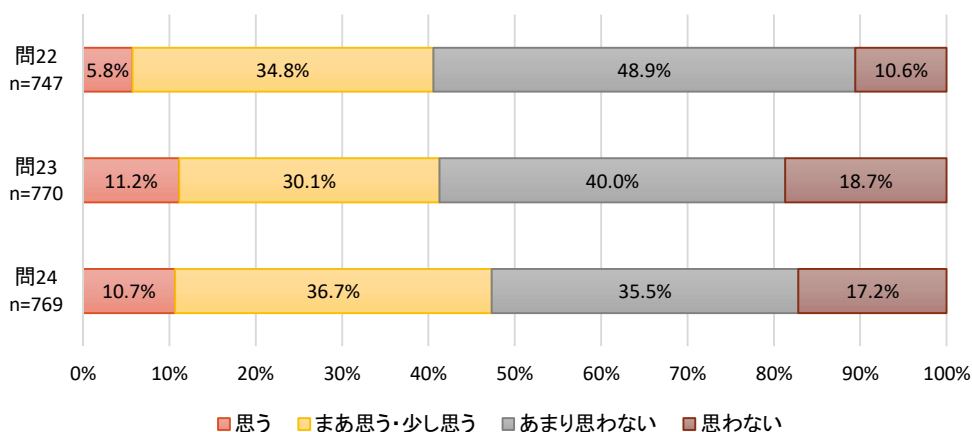
- ・ 恵庭市が障がいのある方や高齢者を含めて様々な立場の人の就労の場があるまちだと思うかについては、「あまり思わない」が 48.9%で最も多く、「思わない」とあわせると否定側の回答は 59.5%であった。
- ・ 「思う」が 5.8%と最も少なく、「まあ思う・少し思う」が 34.8%であり、肯定側の回答は 40.6%であった。

【問 23】

- ・ 恵庭市内に魅力的なお店があると思うかについては、「あまり思わない」が 40.0%で最も多く、「思わない」とあわせると否定側の回答は 58.7%であった。
- ・ 「思う」が 11.2%と最も少なく、「まあ思う・少し思う」が 30.1%であり、肯定側の回答は 41.3%であった。

【問 24】

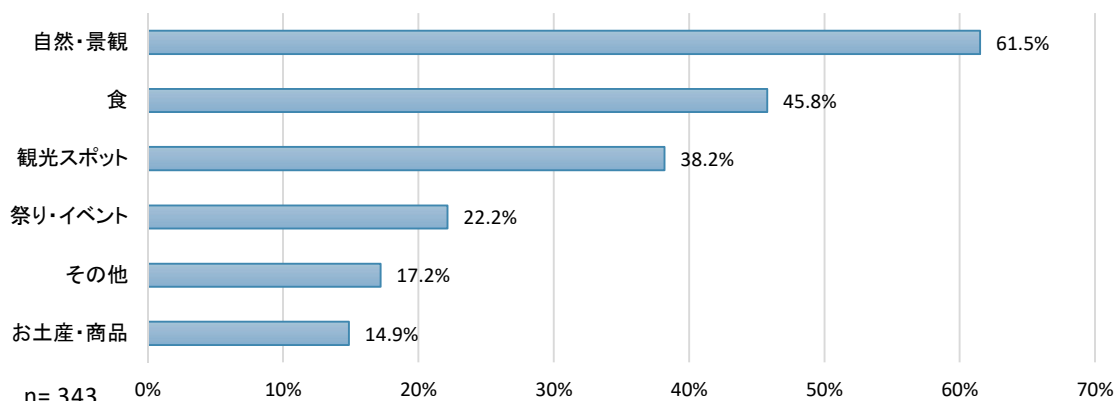
- ・ 恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができると思うかについては、「思う」が 10.7%、「まあ思う・少し思う」が 36.7%であり、肯定側の回答は 47.4%となった。
- ・ 「あまり思わない」は 35.5%、「思わない」は 17.2%であり、否定側の回答は 52.7%と肯定側よりも多かった。



問 22、問 23、問 24 の回答結果

問25. 恵庭市のおすすめの内容（すべて選択）

- ・ 恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができると思うと回答した人に、市外から友人や知人が訪ねてきたら恵庭の何をおすすめするか聞いたところ、「自然・景観」が61.5%で最も多く、次いで「食」が45.8%、「観光スポット」が38.2%となった。
- ・ 回答者が記入した具体的な内容をキーワード化して分類すると、「自然・景観」では滝、「食」では野菜、「観光スポット」ではえこりん村、「祭り・イベント」では花火大会、「お土産・商品」ではかぼちゃ（プリンなど）が多いことを整理できた。
- ・ 「その他」は17.2%となり、具体的には「住みやすさ」や「立地」といった住環境に関する内容が多くあげられた。



恵庭市でおすすめできるもの

各項目における具体的な内容（件数が多かった上位5つを掲載）

順位	自然・景観	件数
1	滝	46
2	花	32
3	ダム	12
4	公園	10
5	盤尻、湖	8

順位	食	件数
1	野菜	36
2	かぼちゃ	22
3	カフェ	20
4	パン	10
5	釜飯	9

順位	観光スポット	件数
1	えこりん村	81
2	道の駅	30
3	滝	23
4	花	10
5	公園	3

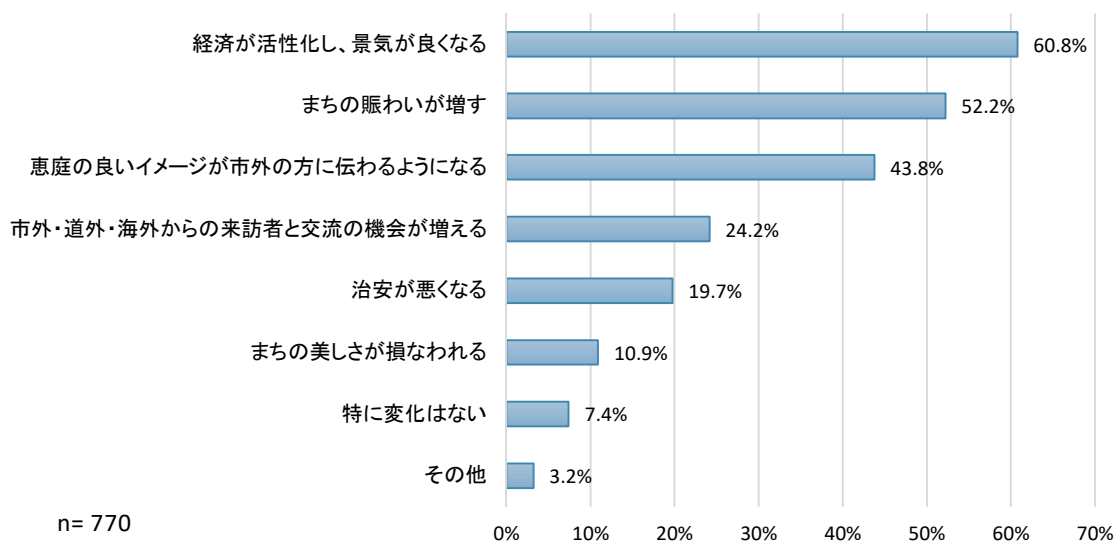
順位	祭り・イベント	件数
1	花火大会	33
2	恵庭花とくらし展	9
3	鳴子まつり	6
4	豊栄神社例大祭、恵み野商店会イベント	5
5	すずらん踊り	3

順位	その他	件数
1	住みやすさ	11
2	立地	10
3	花	7
4	交通の利便性、飲食店の充実	5
5	道の駅	4

順位	お土産・商品	件数
1	かぼちゃ（プリンなど）	23
2	野菜	11
3	スイーツ	8
4	道の駅	5
5	釜飯	3

問26. 観光客が訪れることでの変化（すべて選択）

- ・ 観光客が多く訪れることによる変化については、「経済が活性化し、景気が良くなる」が60.8%で最も多く、次いで「まちの賑わいが増す」が52.2%と、地域への効果やメリットを期待する回答が多い割合を占めた。
- ・ 「治安が悪くなる」は19.7%、「まちの美しさが損なわれる」は10.9%と、否定的な回答は少なかった。



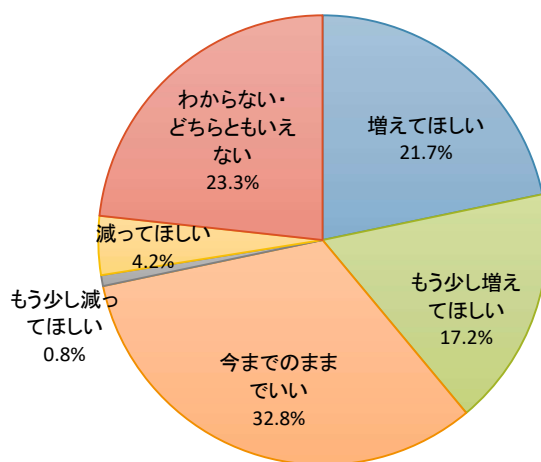
観光客が多く訪れることで考えられる変化

<その他の主な内容>

- ・ 「住民の意識の向上」、「恵庭産のものを知ってもらえる」、「マナー違反」など。

問27. 外国人旅行者について（一つだけ選択）

- ・ 恵庭に観光に来る外国人旅行者が今より増えてほしいと思うかでは、「今のままでいい」が32.8%で最も多く、次いで「わからない・どちらともいえない」が23.3%であった。
- ・ 「増えてほしい」は21.7%、「もう少し増えてほしい」は17.2%と、減ってほしいと思う意見よりも上回った。

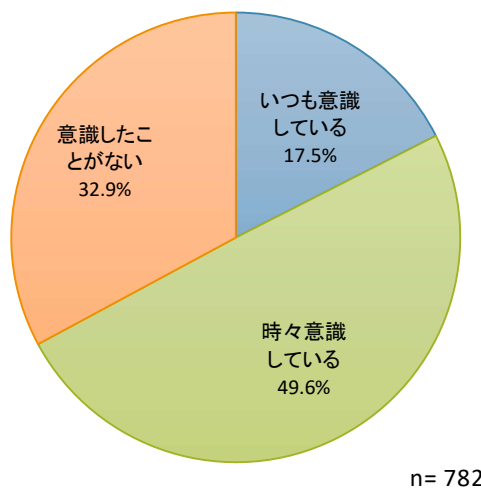


n = 778

外国人旅行者が増えてほしいか・減ってほしいか

問28. 農畜産物の購入について（一つだけ選択）

- ・ 農畜産物を購入するときに恵庭産であることを意識しているかでは、「時々意識している」が49.6%で最も多かった。
- ・ 「意識したことがない」は32.9%で、「いつも意識している」の17.5%を上回っており、地産地消や地元食材への意識が十分に浸透しているとはいえない状況である。

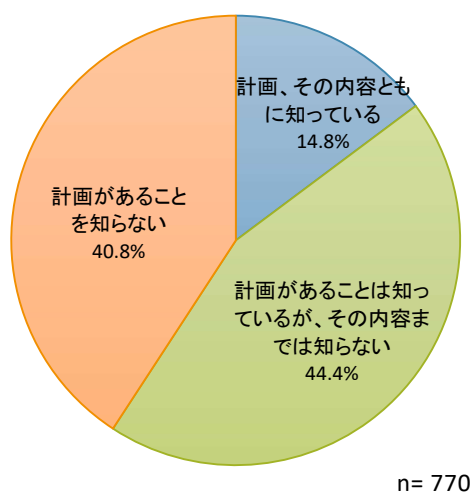


農畜産物購入の際の恵庭産への意識

6) 都市基盤、生活環境、自然環境について

問29. 恵庭市雪対策基本計画の認識（一つだけ選択）

- ・ 除雪や排雪の仕組みをきめた計画（恵庭市雪対策基本計画）については、「計画があることは知っているが、その内容までは知らない」が44.4%で最も多かった。
- ・ 「計画があることを知らない」も40.8%と多い割合を占めているのに対し、内容までを理解している回答者は14.8%とあまり多くなかった。



除雪や排雪の仕組みをきめた計画に対する認識

問30. 水道水の安定供給が行われていると思うか（一つだけ選択）

問31. 大雨時の浸水対策が行われていると思うか（一つだけ選択）

問32. 最寄りの駅周辺に賑わいがあると思うか（一つだけ選択）

【問 30】

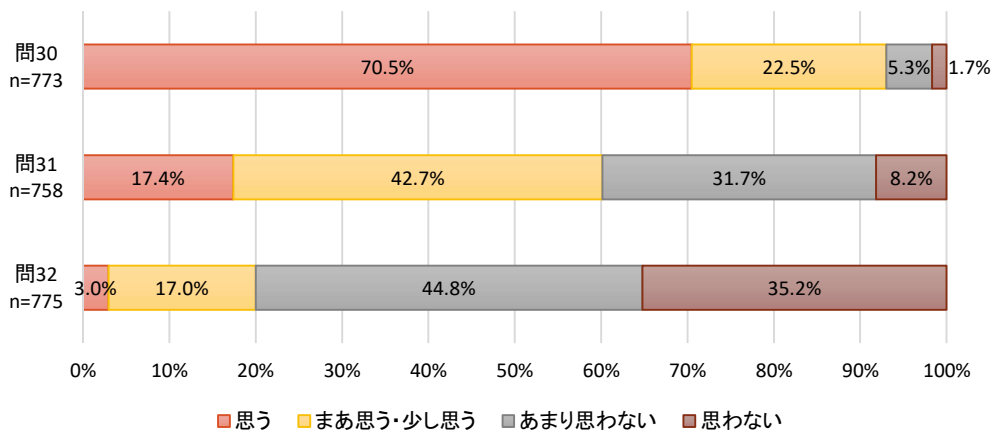
- ・ 水道水の安定供給が行われていると思うかについては、「思う」が70.5%で最も多く、次いで「まあ思う・少し思う」が22.5%であった。
- ・ 「あまり思わない」は5.3%、「思わない」は1.7%しか見られず、水道水の安定供給に対して高い評価が得られた。

【問 31】

- ・ 大雨時の浸水対策が行われていると思うかについては、「思う」が17.4%、「まあ思う・少し思う」が42.7%であり、合計すると60.1%となった。
- ・ 「あまり思わない」は31.7%、「思わない」は8.2%であり、浸水対策に関して評価する回答のほうが多かった。

【問 32】

- ・ 最寄りの駅周辺に賑わいがあると思うかについては、「あまり思わない」が44.8%で最も多く、「思わない」とあわせると否定側の回答は80.0%であった。
- ・ 「思う」が3.0%と最も少なく、「まあ思う・少し思う」が17.0%であり、賑わいがあると思うに対する回答は20.0%と少なかった。



問 30、問 31、問 32 の回答結果

問33. ごみマナー向上・リサイクル推進を意識しているか（一つだけ選択）

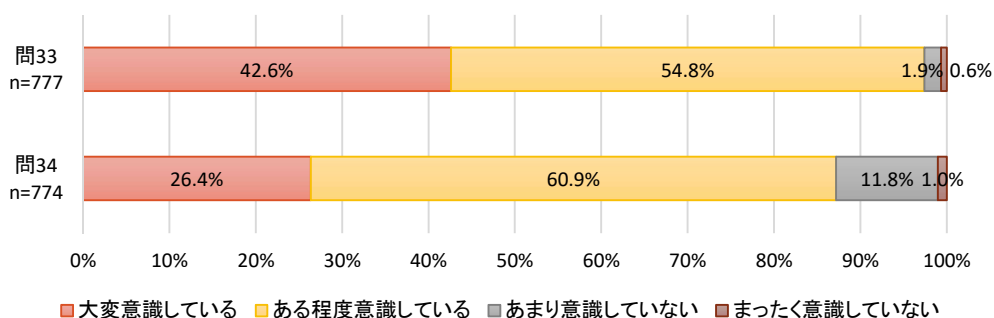
問34. 節電を意識しているか（一つだけ選択）

【問 33】

- ・ 日常生活におけるごみマナー向上・リサイクル推進の意識については、「大変意識している」が42.6%、「ある程度意識している」が54.8%であった。
- ・ 「あまり意識していない」は1.9%、「まったく意識していない」は0.6%しか見られず、ゴミ問題への意識の高さを把握できた。

【問 34】

- ・ 日常生活における節電の意識については、「大変意識している」が26.4%、「ある程度意識している」が60.9%であった。
- ・ 「あまり意識していない」は11.8%、「まったく意識していない」は1.0%しか見られず、節電への意識の高さを把握できた。

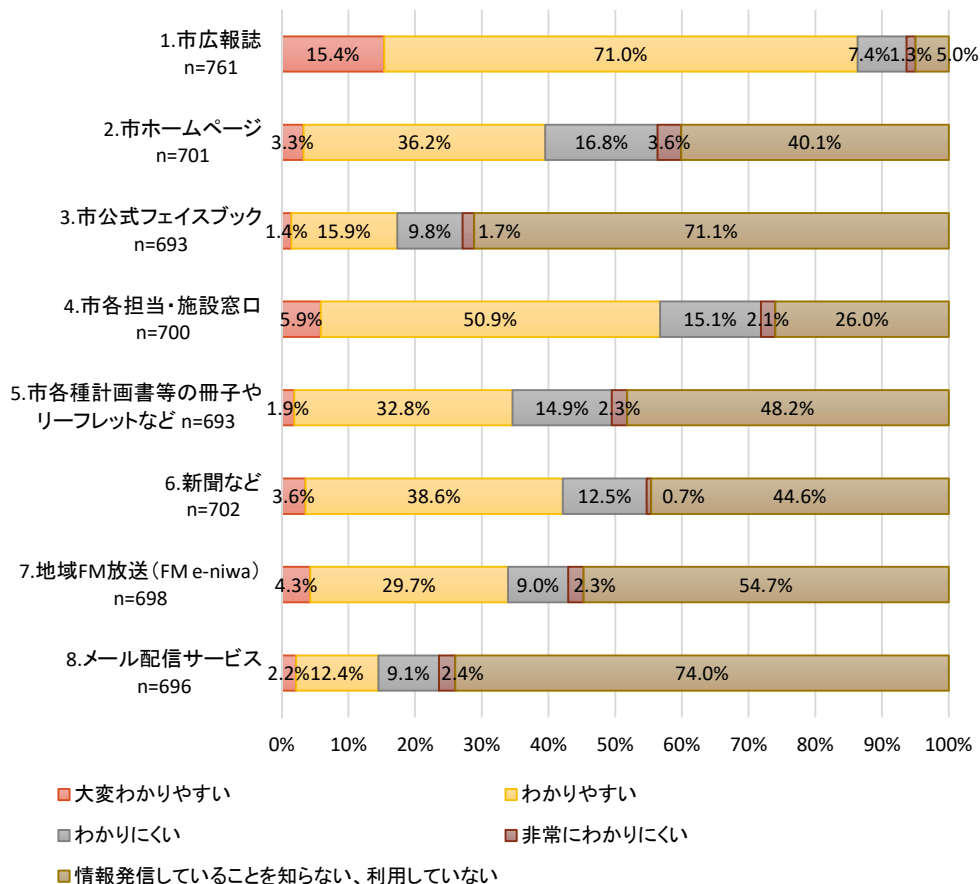


問 33、問 34 の回答結果

7) 人材育成、行政サービス、協働、市民自治について

問35. 市役所の情報のわかりやすさ（一つだけ選択）

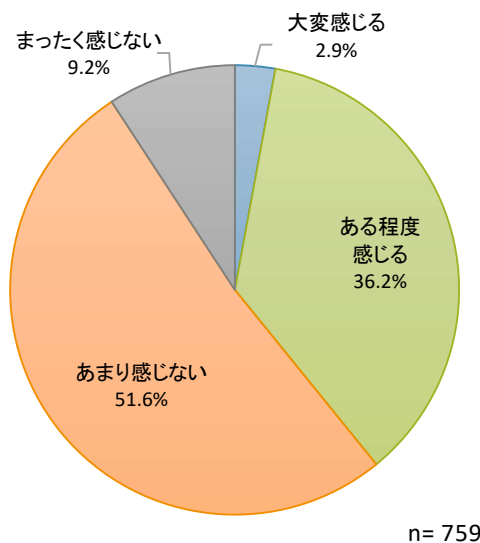
- ・ 市役所の情報のわかりやすさについては、市広報誌では「わかりやすい」が71.0%で最も多く、8つの発信情報のなかで最も評価が高かった。
- ・ 市ホームページは、「情報発信していることを知らない、利用していない」が40.1%で最も多かったが、「わかりやすい」も36.2%と同程度の割合を示した。
- ・ 市公式フェイスブックは、「情報発信していることを知らない、利用していない」が71.1%と非常に多く、浸透していないことを把握できた。
- ・ 市各担当・施設窓口は、「わかりやすい」が50.9%で最も多く、8つの発信情報のなかで2番目に評価が高かった。
- ・ 市の冊子やリーフレットは、「情報発信していることを知らない、利用していない」が48.2%で最も多かったが、「わかりやすい」は32.8%であった。
- ・ 新聞などは、「情報発信していることを知らない、利用していない」が44.6%で最も多かったが、「わかりやすい」は38.6%であった。
- ・ 地域FM放送は、「情報発信していることを知らない、利用していない」が54.7%で最も多かったが、「わかりやすい」は29.7%であった。
- ・ メール配信サービスは、「情報発信していることを知らない、利用していない」が74.0%と非常に多く、8つの発信情報のなかで最も利用されていないことを把握できた。



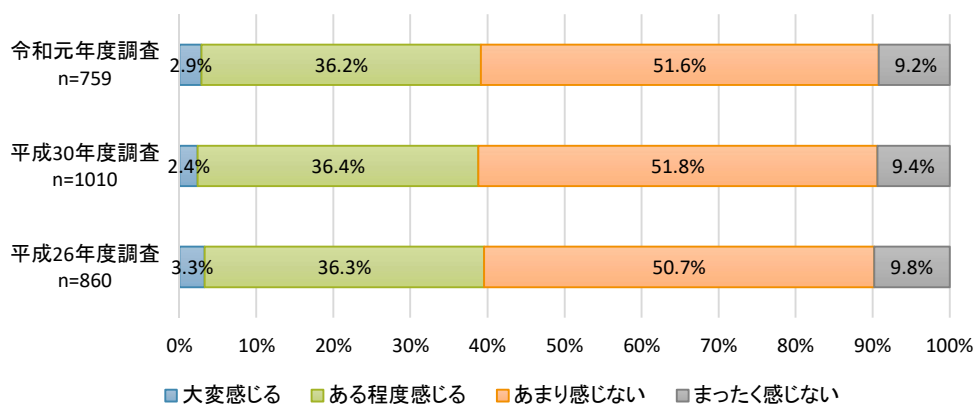
市役所の各情報に対する評価

問36. 恵庭市の行政運営について（一つだけ選択）

- ・ 恵庭市が透明性の高い行政運営を実施していると感じているかについては、「あまり感じない」が51.6%で最も多かった。
- ・ 「大変感じる」は2.9%、「ある程度感じる」は36.2%となっており、行政運営の内容が市民にうまく行き届いていない状況が確認できた。
- ・ 3カ年の経年比較では、「大変感じる」と「ある程度感じる」を合わせた割合は平成26年度調査が39.6%、平成30年度調査が38.8%、令和元年度調査が39.1%といずれも4割程度であり、ほとんど変化はなかった。



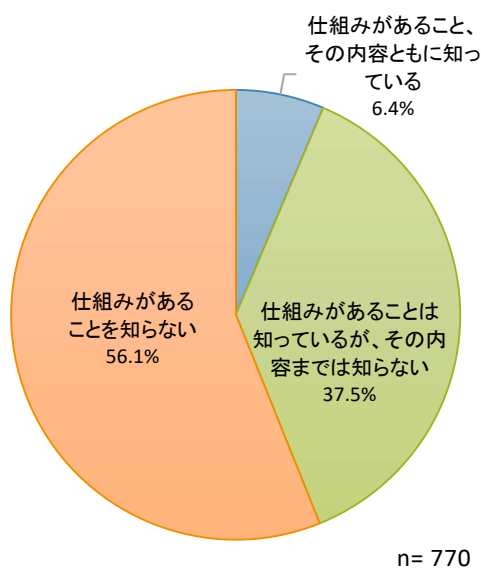
恵庭市の行政運営における透明性への評価



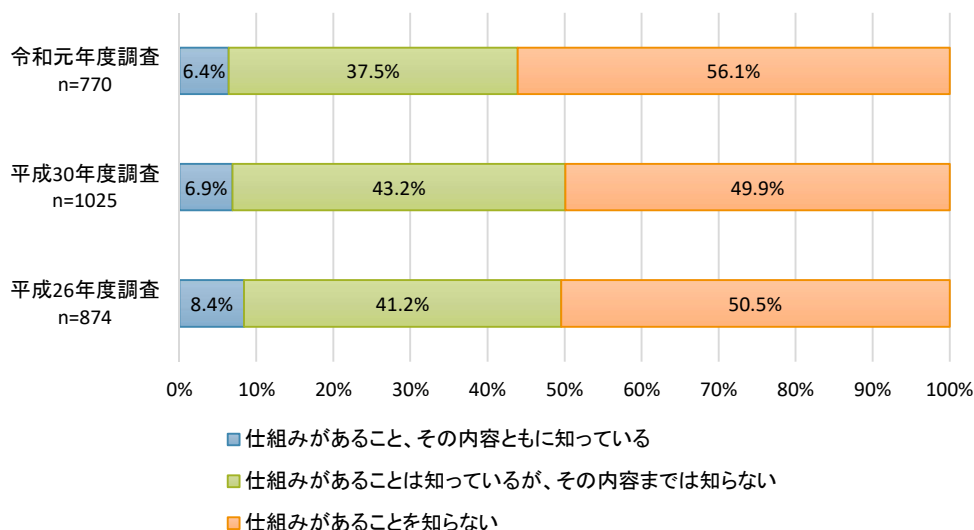
恵庭市の行政運営における透明性への評価（3カ年での経年比較）

問37. 恵庭市政に関する仕組みについて（一つだけ選択）

- ・ 恵庭市に対して市民の声を政策の決定や予算に反映させる仕組みがあることの認知については、「仕組みがあることを知らない」が 56.1%で最も多かった。
- ・ 「仕組みがあること、その内容ともに知っている」は 6.4%しか見られず、行政への市民参画があまり進んでいない状況が確認できた。
- ・ 3カ年の経年比較では、「仕組みがあること、その内容ともに知っている」と「仕組みがあることは知っているが、その内容までは知らない」を合わせた割合は平成 26 年度調査が 49.6%、平成 30 年度調査が 50.1%、令和元年度調査が 43.9%と令和元年度に割合が減少し、最も認識が低かった。



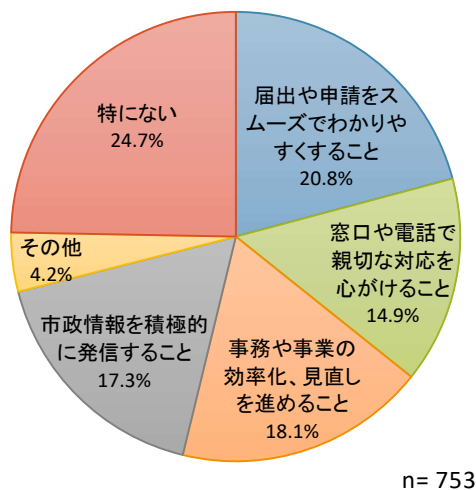
市民の声を反映させる仕組みがあることへの認識



市民の声を反映させる仕組みがあることへの認識（3カ年での経年比較）

問38. 市役所の仕事の取り組み方（一つだけ選択）

- ・ 市役所の仕事の取り組み方でもっと力を入れてほしいと思うことでは、「特にない」が24.7%で最も多かった。
- ・ 「届出や申請をスムーズでわかりやすくすること」が20.8%、「事務や事業の効率化、見直しを進めること」が18.1%など、どの項目もほとんど同じ割合であった。



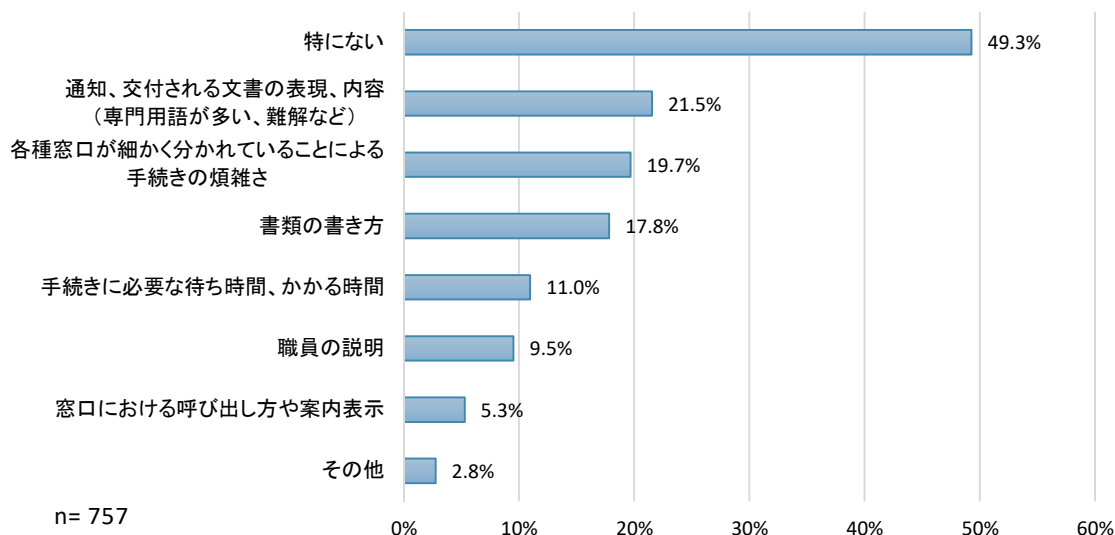
市役所の仕事の取り組み方で力を入れてほしいこと

<その他の主な内容>

- ・ 「窓口対応の向上」、「除雪」、「わかりやすい情報伝達」など。

問39. 市役所での届け出や申請（すべて選択）

- ・ 市役所で届出や申請でわかりづらいことでは、「特にない」が49.3%で最も多かった。
- ・ わかりづらい手続きとしては、「通知、交付される文書の表現、内容（専門用語が多い、難解など）」が21.5%、「各種窓口が細かく分かれていることによる手続きの煩雑さ」が19.7%、「書類の書き方」が17.8%であった。



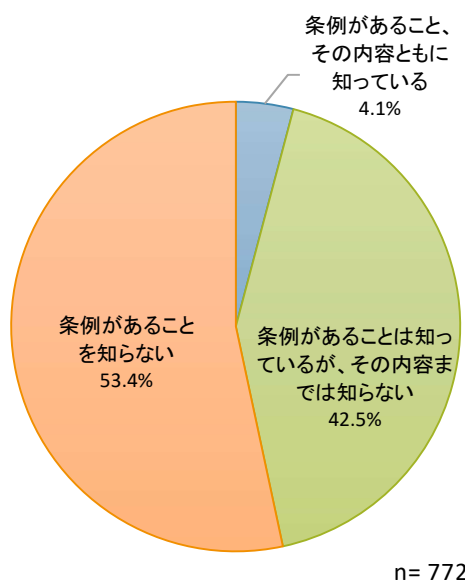
市役所での届け出や申請でわかりづらいこと

<その他の主な内容>

- ・ 「ICTの活用」、「職員によって対応が異なる」など。

問40. まちづくり基本条例の認識（一つだけ選択）

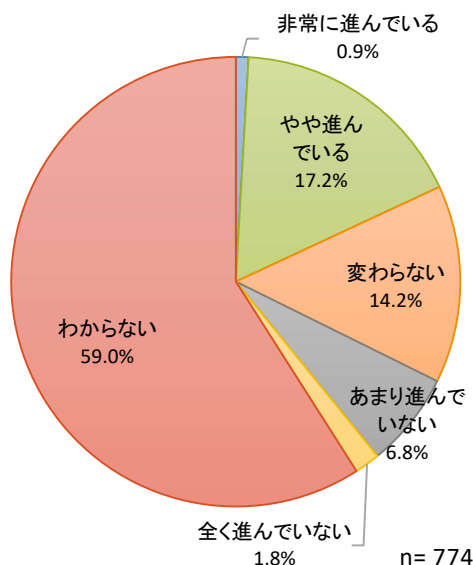
- ・ 恵庭市まちづくり基本条例について、「条例があることを知らない」が53.4%で最も多く、「条例があること、その内容とも知っている」は4.1%と少数であった。
- ・ 「条例があることは知っているが、その内容までは知らない」は42.5%であり、「条例があることを知らない」の53.4%を下回った。



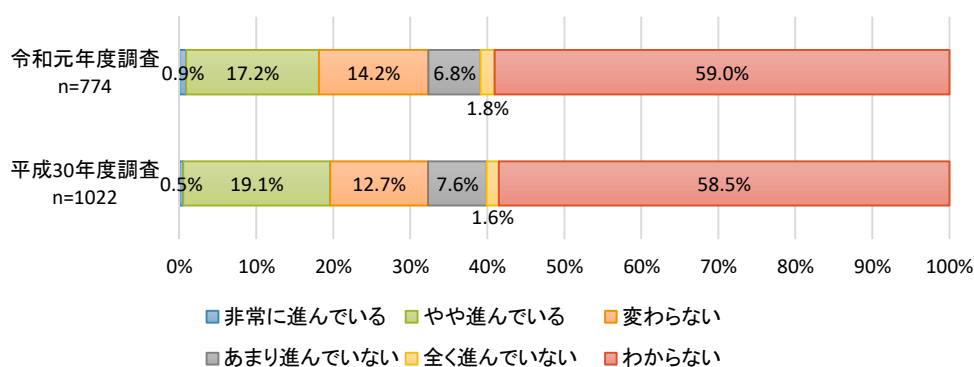
まちづくり基本条例に対する認識

問41. 市民との協働まちづくりの進展（一つだけ選択）

- ・ 市民協働のまちづくりがどの程度進んでいると感じているかについては、「わからない」が59.0%で最も多かった。
- ・ 次いで「やや進んでいる」が17.2%、「変わらない」が14.2%となっており、進んでいないといった回答は合計で8.4%と少なかった。
- ・ 2カ年の経年比較では、「非常に進んでいる」と「やや進んでいる」を合わせた割合は平成30年度調査が19.6%、令和元年度調査が18.1%といずれも2割程度と少なく、ほとんど変化はなかった。



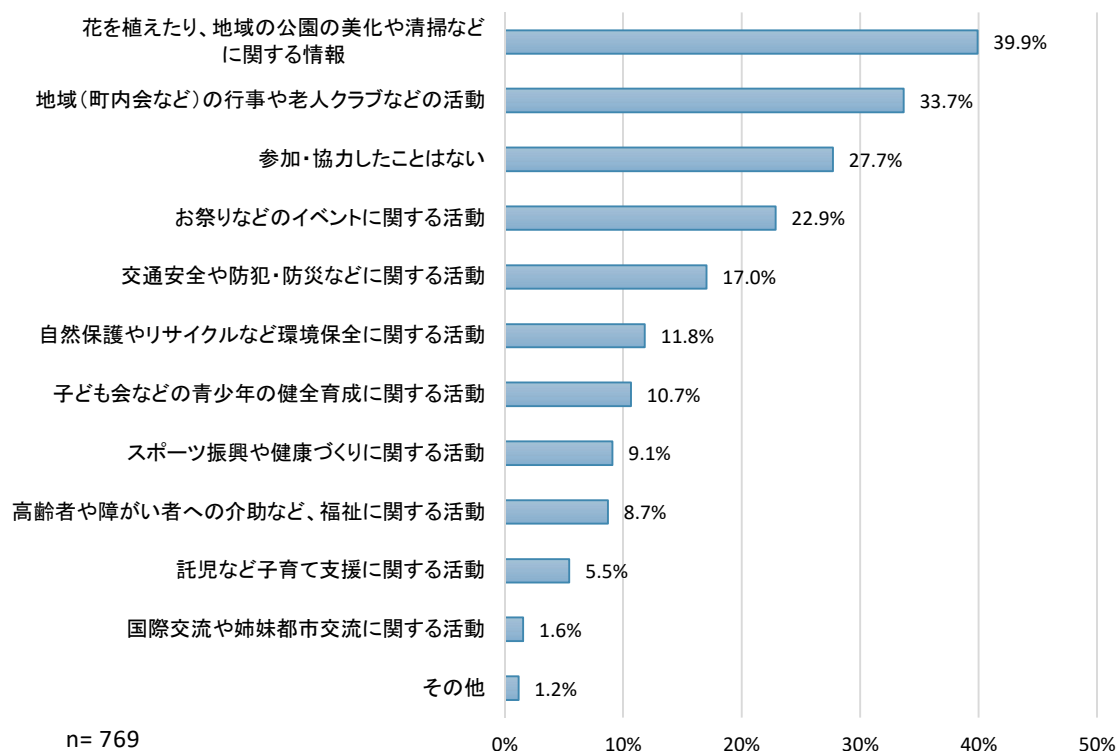
恵庭市の協働まちづくりの進み具合に対する評価



恵庭市の協働まちづくりの進み具合に対する評価（2カ年での経年比較）

問42. 活動への参加・協力の状況（すべて選択）

- ・ 今まで参加・協力した活動については、「花を植えたり、地域の公園の美化や清掃などに関する活動」が 39.9%で最も多く、次いで「地域（町内会など）の行事や老人クラブなどの活動」が 33.7%であった。
- ・ 3番目に多かったのは「参加・協力したことはない」で 27.7%であり、回答が少なかったのは「国際交流や姉妹都市交流に関する活動」が 1.6%、「託児など子育て支援に関する活動」が 5.5%などであった。



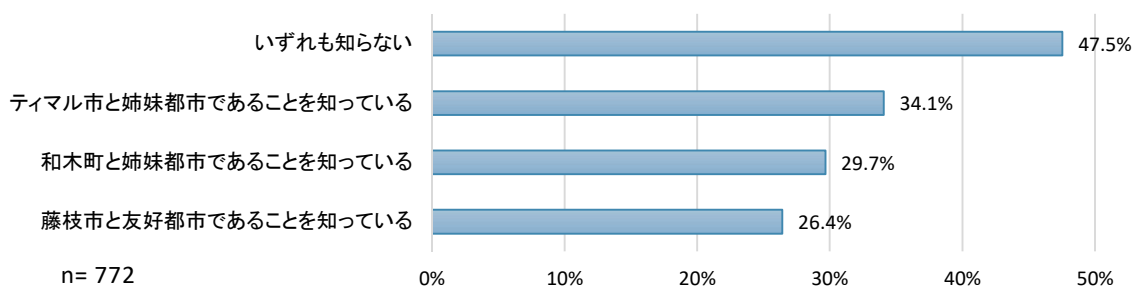
今までに参加・協力した活動の内容

<その他の主な内容>

- ・ 「まちづくり活性化のグループ」、「町内会役員」など。

問43. 姉妹都市、友好都市の認識（すべて選択）

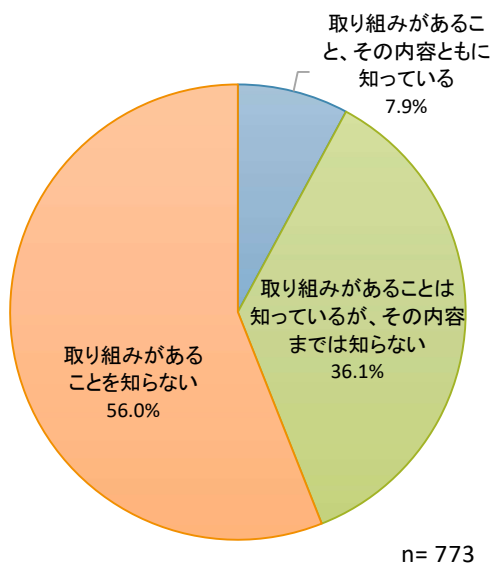
- ・ 恵庭市の姉妹都市、友好都市がどこであるかについては、「いずれも知らない」が47.5%で最も多かった。
- ・ 「ティマル市と姉妹都市であることを知っている」は34.1%、「和木町と姉妹都市であることを知っている」は29.7%、「藤枝市と友好都市であることを知っている」は26.4%といずれも3割程度の認識であった。



恵庭市の姉妹都市、友好都市に関する認識

問44. 男女共同参画社会への認識（一つだけ選択）

- ・ 男女共同参画社会への取り組みに対しては、「取り組みがあることを知らない」が56.0%で最も多かった。
- ・ 次いで「取り組みがあることは知っているが、その内容までは知らない」は36.1%であり、「取り組みがあること、その内容ともに知っている」は7.9%しか見られなかった。

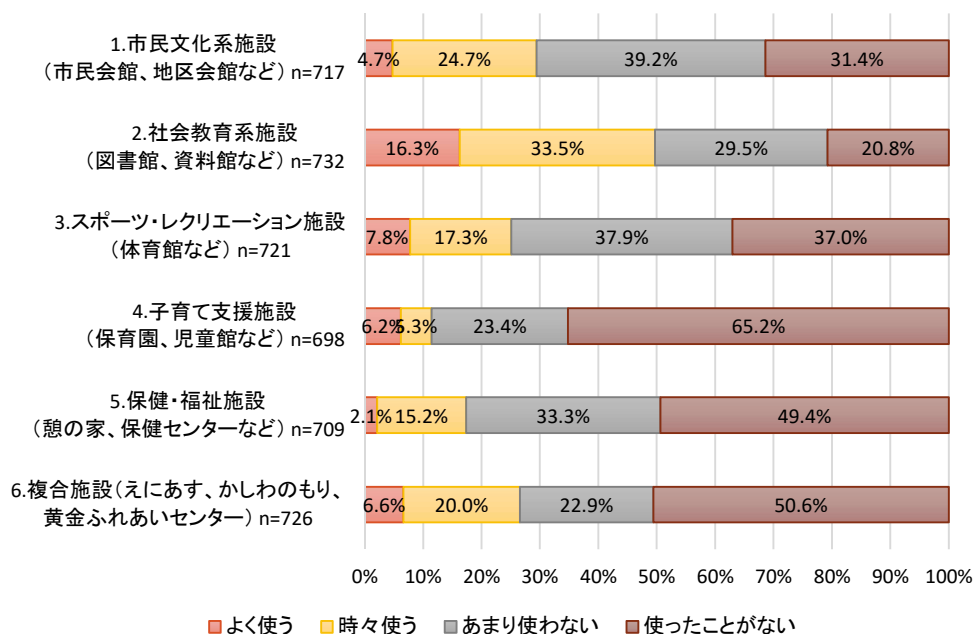


男女共同参画社会の取り組みに関する認識

8) 公共施設について

問45. 公共施設の利用（一つだけ選択）

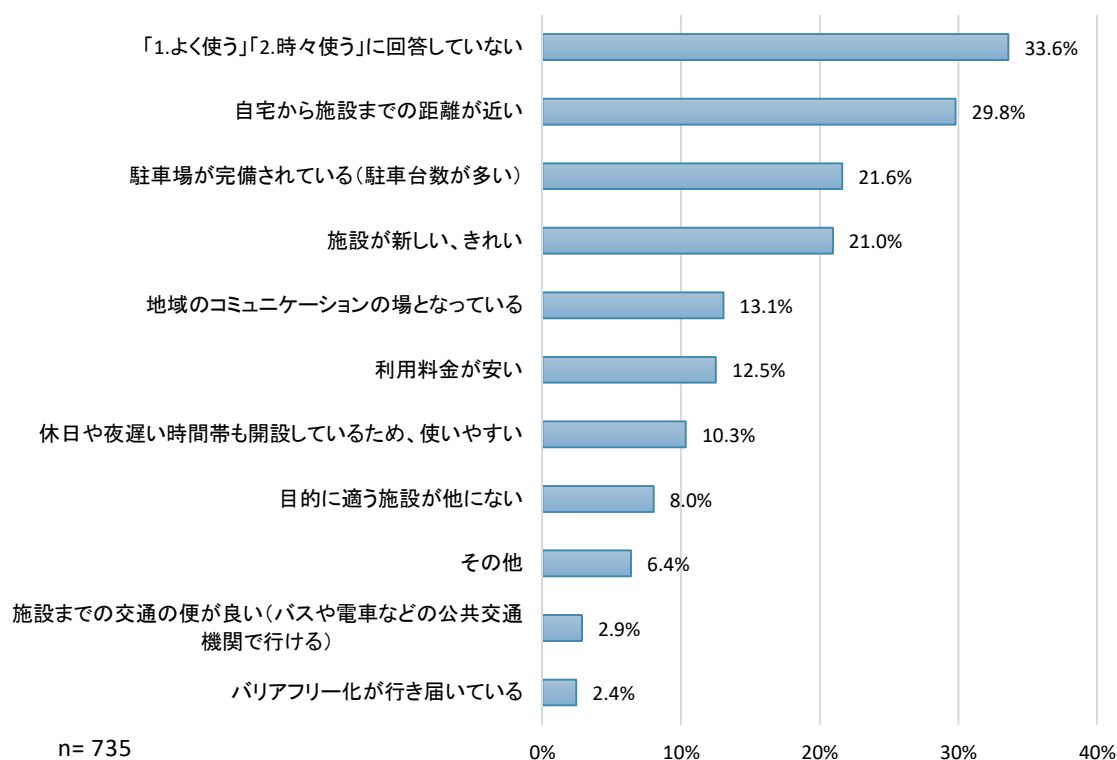
- ・ 恵庭市の公共施設の日頃の利用状況については、市民文化施設は「あまり使わない」が39.2%で最も多く、「使ったことがない」も31.4%と利用が少ない状況であった。
- ・ 社会教育系施設は、「時々使う」が33.5%で最も多く、「よく使う」も16.3%であり、設定した6つの公共施設のなかで最も利用されていた。
- ・ スポーツ・レクリエーション施設は、「あまり使わない」が37.9%、「使ったことがない」も37.0%とほぼ同数を示し、利用が少ない状況であった。
- ・ 子育て支援施設は、「使ったことがない」が65.2%で最も多く、次いで「あまり使わない」が23.4%と、設定した6つの公共施設のなかで最も利用が少なかった。
- ・ 保健・福祉施設は、「使ったことがない」が49.4%で最も多く、「あまり使わない」が33.3%と続き、利用が少ない状況であった。
- ・ 複合施設は、「使ったことがない」が50.6%で最も多かったが、「よく使う」は6.6%、「時々使う」は20.0%と、利用する人としらない人で二極化している傾向にある。



公共施設の利用状況

問46. 公共施設を利用する理由（すべて選択）

- ・ 公共施設をよく使う、時々使うと回答した人に、利用する理由を聞いたところ、「自宅から施設までの距離が近い」が 29.8%で最も多く、次いで「駐車場が完備されている（駐車台数が多い）」が 21.6%と、アクセス性に関する内容が上位となった。
- ・ 「施設が新しい、きれい」が 21.0%、「地域のコミュニケーションの場となっている」が 13.1%と続き、料金や開設時間といった運営面に関する内容は回答が少なかった。
- ・ 最も少なかったのは「バリアフリー化が行き届いている」が 2.4%であり、「施設までの交通の便が良い（バスや電車などの公共交通機関で行ける）」も 2.9%と、利用する要因にはほとんどあげられなかった。



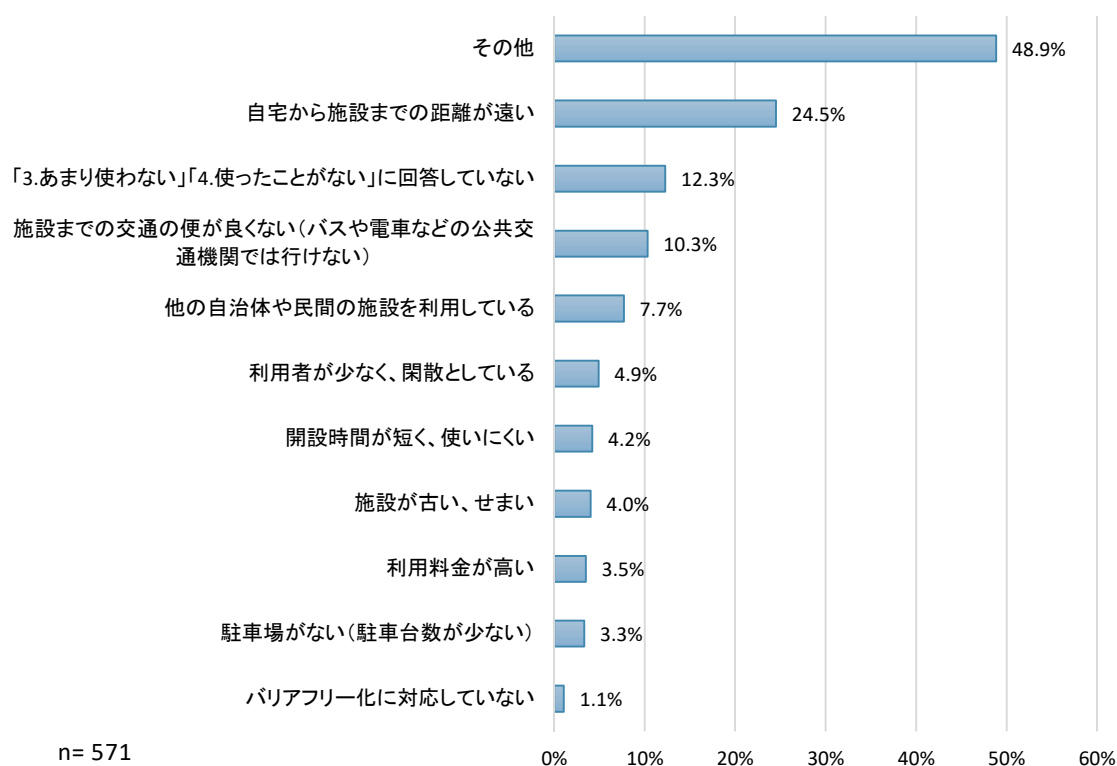
恵庭市の公共施設を利用する理由

<その他の主な内容>

- ・ 「町内会活動」、「読書の場として」、「仕事で利用」、「待ち合わせ場所」など。

問47. 公共施設を利用しない理由（すべて選択）

- ・ 公共施設をあまり使わない、使ったことがないと回答した人に、利用しない理由を聞いたところ、「その他」が48.9%で最も多かった。
- ・ 「その他」の内容としては、「利用する機会や目的、用事がない」といった意見が大半であった。
- ・ 次の「自宅から施設までの距離が遠い」が24.5%、「施設までの交通の便が良くない（バスや電車などの公共交通機関では行けない）」が10.3%と、アクセス性に関する内容が上位となった。
- ・ 「他の自治体や民間の施設を利用している」は7.7%となっており、一定の利用者がいることを把握できた。
- ・ 最も少なかったのは「バリアフリー化に対応していない」が1.1%であり、「駐車場がない（駐車台数が少ない）」も3.3%と、ほとんど問題にはあげられなかった。



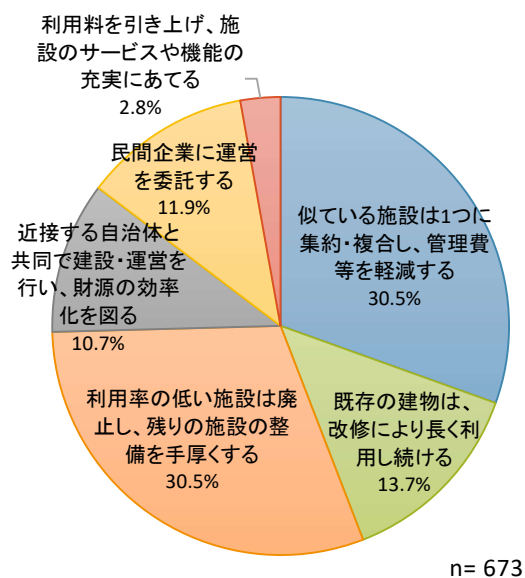
恵庭市の公共施設を利用しない理由

<その他の主な内容>

- ・ 「どこにどのような施設があるかわからない」、「使用目的がない」など。

問48. 公共施設の整備（一つだけ選択）

- ・ 既存の公共施設を維持するのが難しいなかで、どのように整備するのが望ましいかを聞いたところ、「似ている施設は1つに集約・複合し、管理費等を軽減する」と「利用率の低い施設は廃止し、残りの施設の整備を手厚くする」がともに30.5%で最も多かった。
- ・ 「利用料を引き上げ、施設のサービスや機能の充実にあてる」が2.8%で最も少なく、全体としては施設の統廃合への支持が高く、利用料の増額は共感が得られなかった。



公共施設の整備に関して望ましいと思う方法

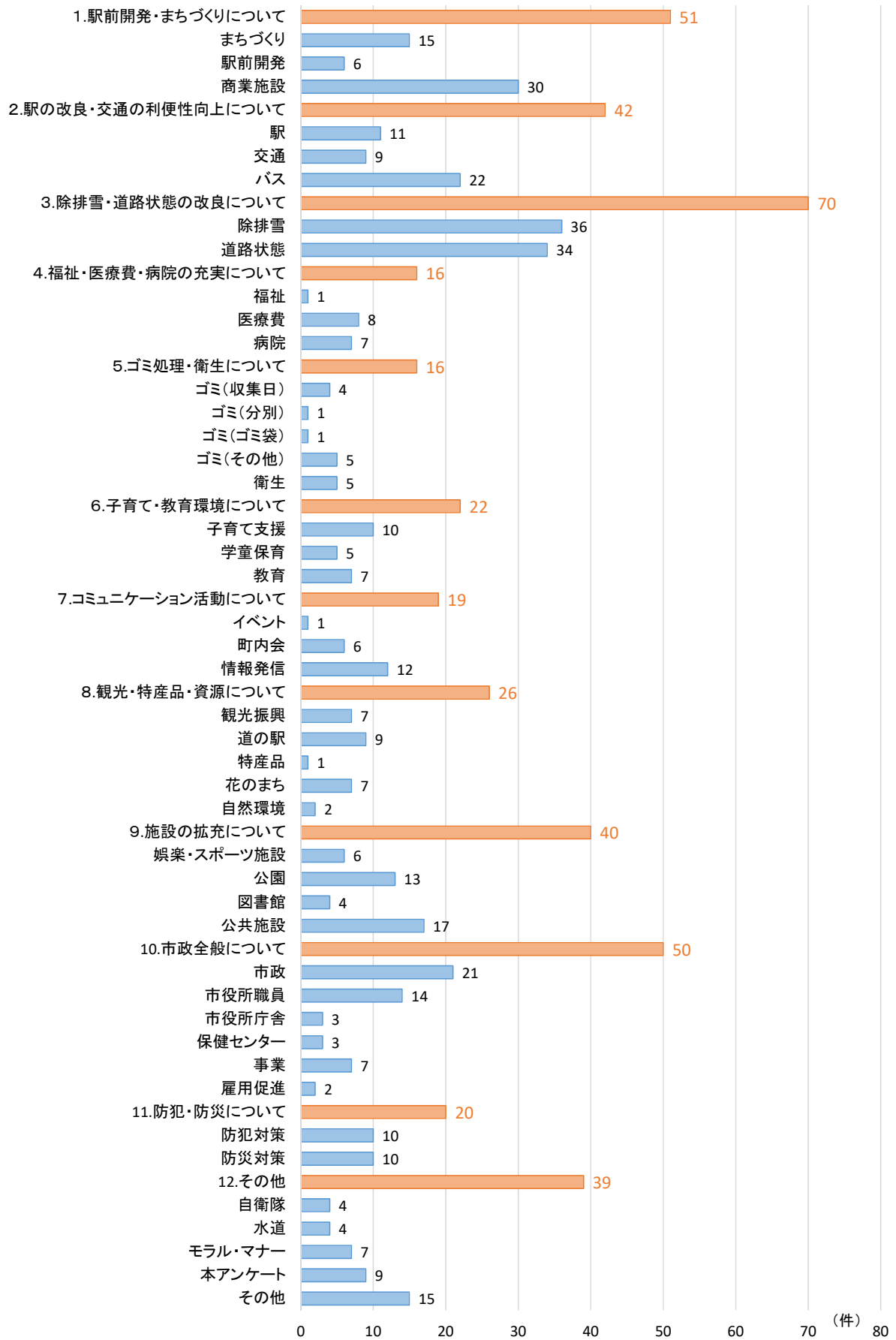
問49. 市政全般についての意見（自由回答）

- ・ 市政全般に関する自由意見では 258 件の回答が得られ、意見は大分類で 12 分類、小分類で 44 分類して集計を行った（内容が多岐にわたるものは、複数回答として処理）。
- ・ 最も多かった意見は「除排雪・道路状態の改良」が 720 件であり、小分類では「除排雪」に関する内容が 36 件、「道路状態」が 34 件を占めた。
- ・ 「駅前開発・まちづくりについて」が 51 件で 2 番目に多く、小分類では「商業施設」が 30 件で最多を占め、恵み野駅前の大型店の閉店に関する内容が多かった。
- ・ 「市政全般について」が 50 件で 3 番目に多く、小分類では「市政」が 21 件、「市役所職員」が 14 件、「事業」が 7 件となった。
- ・ 小分類では、「バス」が 22 件、「公共施設」が 17 件で多く、バスは路線変更に伴う内容、公共施設は今回新たに加えた設問に関する内容が多かった。

市政全般に関する意見の分類表

大分類		小分類		大分類		小分類	
1	駅前開発・まちづくりについて	1	まちづくり	8	観光・特産品・資源について	23	観光振興
		2	駅前開発			24	道の駅
		3	商業施設			25	特産品
2	駅の改良・交通の利便性向上について	4	駅			26	花のまち
		5	交通			27	自然環境
		6	バス			9	施設の拡充について
3	除排雪・道路状態の改良について	7	除排雪				
		8	道路状態	30	図書館		
4	福祉・医療費・病院の充実について	9	福祉	31	公共施設		
		10	医療費	10	市政全般について	32	市政
		11	病院			33	市役所職員
5	ゴミ処理・衛生について	12	ゴミ(収集日)			34	市役所庁舎
		13	ゴミ(分別)			35	保健センター
		14	ゴミ(ゴミ袋)			36	事業
		15	ゴミ(その他)			37	雇用促進
6	子育て・教育環境について	16	衛生			11	防犯・防災について
		17	子育て支援	39	防災対策		
		18	学童保育	12	その他	40	自衛隊
19	教育	41	水道				
7	コミュニケーション活動について	20	イベント			42	モラル・マナー
		21	町内会			43	本アンケート
		22	情報発信			44	その他

■:大分類 ■:小分類



市政全般に関する意見の分類結果